

第3回 葉山町介護保険事業計画等運営委員会次第

日 時： 平成28年12月22日(木) 13:00 から

場 所： 葉山町消防署 3階 災害対策本部室

- 1 町内介護保険事業所アンケート結果について
- 2 葉山町高齢者福祉に関するアンケート調査について
- 3 その他

(配布資料)

- 資料1 第3回葉山町介護保険事業計画等運営委員会会議録(概要)
- 資料2 第7期介護保険事業計画策定に向けての介護事業所アンケート結果
(平成28年6月実施)
- 資料3 葉山町高齢者福祉に関するアンケート調査【介】
- 資料4 葉山町高齢者福祉に関するアンケート調査【一般】

第 2 回 葉山町介護保険事業計画等運営委員会 会議録

日時：平成28年 7月21日(木)

13：30～14：30

場所：葉山町役場 3階 協議会室 2

委員会の概要

- 1 平成27年度（第6期計画期間）における各事業の事業実績について
- 2 町内介護保険事業所アンケートについて
- 3 その他

配布資料

- 資料 1 平成 27 年度（第 6 期計画期間）における各事業の実績報告
資料 2 葉山町第 7 期介護保険事業計画策定に向けての事業所アンケートへの協力をお願い
資料 3 アンケート結果報告書（抜粋版）【居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、特別養護老人ホーム】
資料 4 第 1 回葉山町介護保険事業計画等運営委員会会議録（概要）

出席者等（敬称略）

- 会 長..... 山本恵子（欠）
副会長..... 二瓶東洋
委 員..... 青木英子、岩本妙子、加藤克真、加藤智史、重松美智子
沼田謙一郎
事務局..... 仲野福祉部長、中川福祉課長、坂口課長補佐、大渡係長

議事録

1 課長あいさつ

(課長)

定刻より少し前なんですけれども、皆さんお集まりなので、始めさせていただきたいと思います。本日はお忙しい中、この委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

初めにご報告なんですけれども、本委員会は規則により過半数の委員の出席で成立いたします。本日は、山本委員長と田中委員は欠席なんですけれども、過半数の出席がされていますので、委員会が成立していることをご報告いたします。

それでは、議事進行は、二瓶副委員長よろしくお願いいいたします。

次に、傍聴者なんですけれども、町のホームページの方で募集しましたところ、1名の傍聴の希望者いらっしゃいました。皆様のご了承を得て傍聴者の入室許可したいと思いますけど、よろしいでしょうか。

はい。では今呼んできます。

では、傍聴の方におかれましては、机上に配布しております傍聴の注意事項、遵守していただきますようお願いいたします。

それでは以降の進行、二瓶副委員長の方にお任せいたしますので、よろしくお願いいいたします。

2 平成27年度(第6期計画期間)における各事業の事業実績について

(二瓶副委員長)

じゃあ代わりに、今日山本先生の代わりに私がさせていただきます。

改めまして、第2回葉山町介護保険事業計画の運営委員会を始めさせていただきます。

まず第1回事業計画委員会の会議録は、ご覧になっているかと思います。何かございましたら、この終了後に事務局の方にお申し出ください。

それではこれから事務局より平成27年度実績報告をしていただいて、その後、第7回計画に向けて町内の介護事業の実施するアンケート調査についてご説明いただき、議論をしていこうかと思えます。よろしくお願いいいたします。

では、次第に基づいて、事務局より平成27年度各事業の実績報告をお願いいたします。

(事務局)

あらかじめお配りした資料の1の方をご覧になってください。ページをめくっていただいて、1ページ目のところになります。まず第1号被保険者のところなんですけど、27年度、28年度、本年度につきましては暫定的に6月1日時点ですべて出しておりますけれども、計画通りの高齢化率になっているというのが見てとれます。

2番の要介護認定者数のところなんですけども、こちらの方につきましては、要介護4と5、重度の方々が若干多くなっているのが見てとれるところです。

ページをめくっていただいて、2ページ目以降につきましては、サービスの利用実績でございます。時間の都合もございますのですべてではなくて主だったところをご説明させていただこうと思っております。

27年度は介護報酬の改定があった年でございます。今までの介護報酬に比べて全体のマイナス2.27%とかなり報酬が下がっているというところがございます。

計画よりも低いようなものがございます。その辺についてはご説明させていただくとともに、ぜひ委員の皆様からご意見をいただければという風に思っております。

介護予防訪問介護のところでもございますけれども、計画値のところは27、28に比べて29年度が少なくなっているというものがございまして、これは後ほどご説明させていただくんですが、

介護予防訪問介護と介護予防通所介護につきましては、全国一律のサービスから市町村独自の地域支援事業、いわゆる総合事業の方に移行するというものでございます。

葉山町におきましては、29年の4月から移行する予定でございます。その時点ですでに要支援認定を受けている方々は今までのサービスを暫定的に使うことができますので、多少金額を残しているというものがございます。

引き続きまして4ページ目をご覧ください。通所介護、介護予防通所介護のところでございます。介護予防通所介護のところにつきましては、今私が申し上げた通りなんですけども、要介護1から5の通所介護につきましても制度が変わっております。

今年の4月から定員が19人未満の小規模な通所介護、いわゆるデイサービスの事業所は、地域密着型通所介護ということで移行しております。

都道府県、あるいは政令指定都市、中核市が指定する事業所から市町村、これは葉山町も含めてなんですが、すべての市町村が指定する地域密着型通所介護に変わっております。なお、地域密着型通所介護に変わりますとその所在する市町村の住民しか使えなくなるというようなサービスになっております。

27年度の通所介護の計画値よりも実績値が88.8%と少し落ちております。ちなみに26年度の給付実績でいきますと、通所介護の方が約2億6000万円でございます、2億6000万円が2億4600万とかなり減っております。また介護予防通所介護におきましても、26年度が3900万円だったものが、27年度3500万円と下がっております。今回、報酬改定で通所介護はかなり減らしております。

そして、目立つところでいきますと5ページ目、隣のページでございます。短期入所生活介護、いわゆるショートステイというものになるんですけども、これも計画値に比べて90%下回っております。26年度の実績値でいきますと、9,000万円でございますので下がっております。ショートステイにつきましては、なかなか入りづらいとかというようなご意見もありましたけれども、その辺のところもよろしければ一度ご意見をいただければなという風に思います。

そして6ページ目をご覧ください。特定施設入所者生活介護、これはいわゆる介護付の有料老人ホームのことを指します。介護付有料老人ホームで要介護1以上の方々につきましてはほぼ計画通りに進捗をしているんですが、要支援の方々の給付実績は、かなり下がっております。

ちなみに26年度の実績が2,300万円ございましたので、それに比べると大幅に下がっているということが見てとれます。

そして9ページ目をご覧ください。定期巡回随意対応型訪問介護看護のところでございますけども、計画に比べまして実績が非常に大きくなってございます。

なお、今年6月末の時点で利用者は6人いらっしゃいます。この事業所につきましては、24時間365日いつでも来てくれる在宅介護の切り札となるような事業所でございます。今期はこのまま増設はいたしません、来期以降、第7期以降ですね、さらに増設するのかどうかとかいうところはあのまた改めて議論をお聞きしたいなあという風に思っている次第です。

10ページ目をご覧ください。上段の小規模多機能型居宅介護事業所でございます。これも計画値に比べて実績者数は少なくなっております。小規模多機能は先ほどの定期巡回と同じく在宅介護の切り札になるものです。こちらの方はいつでも、通うことができる、通いながら泊まることもできる、なおかつ自宅にも来てくれるという形で、施設のサービスを在宅に移すというもので、こちら在宅介護の切り札となっているものでございます。こちらにつきましては、現在1事業所公募しております。で、この公募状況等につきましてはまた後ほど、ご説明をしたいという風に思っております。

11ページ目をご覧ください。地域密着型通所介護、先ほど、私が申し上げたところでございます。これは今年の4月から、開始された事業所でございますので、27年度の実績値はないというものでございます。ただこれは来年また、ご報告できればいいかなという風に思っております。

そして、12ページ目をご覧ください。特別養護老人ホームの待機者でございます。26年度が173人待機者がいらっしやったところが、27年度は136人とかなり減っております。このご説明につきましては、次のアンケートのところで詳しく説明させていただきます。

そして、14ページをご覧ください。介護給付費の推移といったところにつきましては、ほぼ予定通りに推移しております。

そして先ほども申し上げましたけれども、介護保険事業所の整備状況ということで、今年度新たにやるものだけ抜粋しました。まずは地域密着型介護老人福祉施設、いわゆる29床以下の特別養護老人ホームの件でございますが、1事業所、すでに公募した時に申請をさせていただいたということは、前回ご説明させていただいたところでございます。こちらにつきましては、現在住民説明等もやらせていただいている中で、来年4月の開所に向けて、着々と事業を進めているところでございます。

それと先ほど申し上げた小規模多機能型居宅介護事業所の1事業所の公募でございますけれども、現在公募しており、1事業所からすでに相談も受けております。こちらにつきましても、来年4月の開所を目指して今公募をしているところでございます。

今日は地域密着型サービス運営委員会を開いておりますけれども、小規模多機能型居宅介護事業所の公募が正式になされまして、そして書類等が整いましたらば、地域密着型サービス運営委員会につきまして、開催させていただいて、皆様に詳しい内容をご説明したいなという風に思っております。今日の段階では公募中であると、で、1事業所から相談までは受けてますというところが報告でございます。

それと、15ページ目のところをご覧ください。例年高齢者数も増加していることから、全国的に介護保険料も増加しております。そうした中、葉山町におきましては、14段階とかなり細かく基準段階をさせていただいているんですけど、目立つところでいきますと、やはり第1段階という一番所得の低い方々が13.5%いらっしやるところ、一番多い階層というのが、第4と第5の段階、これは、ご本人は非課税なんですけれども、ご家族に課税の方がいらっしやるような場合の世帯の方々は非常に多くなっているというところ。それと、第9段階、ご本人は課税なものの合計所得金額が200万円から400万円未満という方が、非常に多くなっているというところがございませぬ。ただし、13段階、1000万円以上の方々、14段階の1500万円以上の方々も、まあ相当数いらっしやるところは葉山町の特徴であると考えます。

それと、16ページ、17ページのところでございます。16ページのところ、保険料の徴収状況につきましては、介護保険制度はあの、年間18万円以上の年金をもらってらっしやる方は年金から天引きという形になっておりますので、非常に徴収率の高いというものがございませぬ。

17ページ目以降につきましては、えー、高齢者福祉事業ということになっております。これも時間の関係上、主なものだけご説明させていただきます。

18ページ目をご覧ください。番ですね。介護予防運動教室ですが、これは昨年から始めたのですが、運動器具を今まで使ったことがないような、初心者の方々に対して、運動器具を使っただけなんです。ウェイトトレーニングほどではないんですけども、マシンを自由に使っただけで、介護予防をやらせていただくというものがございませぬ。これはあの、1回の定員が30名にさせていただいてるんですけども、広報で募集しますとほぼその週で埋まってしまうような人気講座となっております。町民のそういった予防事業に対する期待度の高さが良くわかるという事業となっております。

21ページ目をご覧ください。えー、番と番のところですよ。番生きがいミニデイサービス事業という形で、これはあの、社会福祉協議会を通じまして、各町内会の方々にお願いをして、地域の皆様との交流を通じた介護予防、生きがい作り、住民同士のつながりを作る事業ということになっておりまして、これは非常に力を入れたい、入れていくべき事業だと考えております。

また、番の健康と生きがい作り推進事業につきましても、これは町内会ですとか、老人会ですとか、体育協会の皆様にお声かけをさせていただいて、保健センターで運動をさせていただく、ある

いは調理実習をしていただくという形で、運動と食生活の改善を目指した、これも住民参加型の事業になっております。

そして、22ページ目をご覧ください。先ほど申し上げた予防の訪問介護、予防の通所介護が市町村独自の事業に変わるですとか、今私が申し上げた生きがいミニデイサービスですとか、健康と生きがいづくり推進事業のような、地域住民と協同するような事業という形で新総合事業、いわゆる生活支援総合事業というものがあまして、29年の4月から新総合事業への移行を予定しております。

1番、生活支援コーディネーターの設置です。生活支援サービスの充実に向け、ボランティア等の生活支援の担い手の養成、発掘等の地域資源の開発やネットワーク化が必要となっており、その担い手として、市町村ごとに生活支援コーディネーター、地域支え合い推進員を設置しますという形で、昨年度、私どもの職員と、あと社会福祉協議会の職員の皆様とで、養成講座を受講しております。そして今年度、2名設置する予定で今事務を進めております。これは今のところ町役場の職員がなる予定で事務を進めております。

そして2番の協議体です。生活支援サービスの充実に向けて、多様な関係主体間の定期的な情報共有および連携・協同による取り組みによる推進を目的とした共同体を設置します。簡単に言いますと、コーディネーターはそういった場の機会を企画するですとか、あるいは事業を開発し、そういった内容を協議体で議論していくというものでございます。協議体につきましては、今年度中の設置を予定しております。協議体の構成員といたしましては、小地域福祉活動推進連絡会、インフォーマル会議参加団体、民生委員・児童委員、シルバー人材センター、介護保険事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、そして町、福祉課という風になっております。こちらにつきましても、小地域福祉活動推進連絡会がございまして、そこを発展的に拡大してやっていこうということで調整させていただいております。今年度、協議体で何を議論するかということにつきましても、生活支援体制整備事業ですとか、新総合事業について、メンバーにご説明をさせていただくと。そして、住民主体による通所型、訪問型サービス、あるいは住民主体による移動支援について、住民の方々の積極的な参加につきましても、皆様と議論をしていきたい。そして、私どもは、この事業は両輪と考えておまして、住民の方々の会議と、それとは別に、介護保険の事業者だけを集めまして、色々な要支援の通所介護と訪問介護についての意見交換をしております。で、そういった介護保険の事業者から、まとまってきたアンケートについて、住民側にご説明させていただいて、そして住民と一緒に協同的に事業を開発していくことを予定しております。この内容等につきましては、今回ではなくて、次回以降の会議でまた皆様にご説明したいと思っております。

23ページ目のところは、その詳しいご説明になっておまして、来年の4月からでございますけれども、訪問介護も通所介護におきましても、1番のところ、いわゆる現行相当のサービスを主軸として考えるところです。これはどこの、全国どこの市町村でも同じことを考えております。ただ、そうした中でも、2番、緩和した基準によるサービスがどういったものが提供できるのか、そして3番といたしまして、住民の方々がどのように参加をできるのか、参加していただけるのか、ということを探っていく。これはあの、住民への押し付けという形ではなくて、すでに住民活動は活発でございますので、その住民活動について、皆様のご協力をいただく、協同していくというものがB型のところで考えているところです。

それと、訪問型のD型のところです。移動支援という部分です。葉山町は鉄道網がないということもございまして、また、高齢化も非常に進んでおりますので、サロンに行くにも、その足がない、交通手段がないというご意見も色々いただいておりますので、そういった移動手段について住民主体でどのようなものができるのかということも、今、社会福祉協議会と一緒にやらせていただいている地域福祉活動計画、こちらの方で様々な議論をさせていただいております。

そして24ページ目のところでございます。新総合事業へ移行という形になっております。通所型サービス、訪問型サービスということで、介護予防の通所介護、介護予防の訪問介護は新総合事業としてこう移行していくという予定のものを書かせていただいております。

以上、27年度の実績についてご説明させていただきました。よろしくお願ひいたします。

(二瓶副委員長)

ありがとうございました。27年度事業実績報告について報告をいただきましたけれども、この期間は小規模型多機能居宅介護とか、地域密着型通所介護とか、新しい事業が始まった。

今ちょっと、その手ごたえみたいなことが書かれたんだと思います。それから、これから出てくる新規なサービスについても、後半で報告していただきました。何か、こう、ご意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。

(委員)

うちの方でデイサービスをやらせてもらってますから、27年度の状況について簡単ですけどもご説明させていただければと思ってます。

ページで言うと、4ページです。通所介護、介護予防通所介護のところになっております。こういう風に集計を取られてらっしゃいますので、この全体の数字がそう変わらないということですから、ご利用の方法が変わってるってということもあるんだと思います。

とりあえず現状として新規のご利用者が少し減少してるかなという状況がございました。で、合わせて利用回数が普通週に2回3回とご利用になる方もいらっしゃるんですが、それが週に1回だとか、多くても2回だとかっていう風に、回数が減ってらっしゃる、少ない方が、増えてきてるといふ状況があります。

利用者の減少というの、この給付費の方が確かにこういう風の下がってますので、うちの方としての考えとしては、介護報酬の改定で自己負担金の方が、年収により1割2割に増えたということもあります。それによって、もしかするとですけど、利用日変えっていうんでしょかね、今まで何回かご利用なさった分をその分1回減らすだとか、そういった要因があるんじゃないか。

あとは外部要因としまして、これはよくうちの担当者なんかでも聞く話なんですけども、老健さん、老人保健福祉施設、施設の方ですね、こちらの方がまあ大分、営業といいましょうか、利用するチャンスが多くなってらっしゃるといふ話を聞いてます。ですので、老健だとか、訪問リハビリだとかね、そういったところが、まあ比較的に利用しやすくなって、デイサービスっていうのは、1つの目的としては、リハビリだとか運動という目的があるんだと思います。そちらの方を特に希望される方なんかにとっては、かえてってそういったサービスの方が具体的にできるんじゃないかということ、ご利用、あの、こういう給付の方ですね、こちらの方までいくんじゃないかなという風に、分析を今しているところです。

ショートステイに関しても同様のことが言えると思います。うちの方では、ショートステイ10床ということでリピーターが多くなってます。

それほどベッドが多いうわけではないというのが今のところ現状ですが、それが家族というところなんかだと、1つ例えばあの、空きベッドが出てしまう可能性もあるんじゃないかなということはあると思います。

(二瓶副委員長)

ありがとうございました。なんかちょっと厳しいんじゃないかというような。予防というか通所介護についてちょっと厳しさのあるような報告でした。他にございませんでしょうか。

(委員)

生きがいミニデイサービス、インフォーマルの事業についてなんですけど、今あの、生きがいミニデイサービス、町内で21箇所でしたが、毎年、この生きがいミニデイサービス、少しずつですけど増えてきております。独自に、町内の中でサロン活動をやられているところが結構増えてきておまして、現在うちが把握しているところだけでも40箇所を超えてるといふような状況です。

うちの方から助成金を出してるところもあれば、まあ助成金なんかもらわなくても自分たちでやっていこうよというような住民の意識の高い方、地域で支え合っていこうよという、自分たちでサロンを、ご自宅を開放したサロンなどを、やっておられるところが増えてきたという状況です。

そうするとやっぱり50、60が地域の中でミニデイサービスとかサロンをやられているということで、この数字を見ると、あの、非常にこの人口3万3000の中では非常に多いということです。住民の方の意識が非常に高いということで、今後ますます広がっていく傾向にあるんじゃないかということで、29年4月以降、新総合事業に葉山町も移行していくという中では、その辺の部分についても大きく住民の方に対して期待するところが大きいんじゃないかなということで、その辺をどういう風にバックアップしていったらいいのかということは、行政の方と一緒にって社会福祉協議会としても支援をしていくことが必要なのかなという風には思っております。

いずれにしても、要支援・要介護の方々が、地域の中で今の介護保険のデイサービスに通うだけではなくて、地域の、本当に隣近所の中で支え合えることができるようになっていくことがやっぱり一番理想なのかなという風に思ってますので、その辺は非常に大切にしていけることができればなという風に考えてます。

以上です。

(二瓶副委員長)

葉山という特殊性っていうか、住民の意識の高さ、それはこういうサービスが変わってっただ中で出てきたわけじゃなくて、前からそういうきざしっていうのはあったんでしょうか。

(委員)

よく南足柄が最近うちの方に視察に来られるんですけど、葉山の中では、社協がある程度仕掛ける部分っていうのはあるんですけど、住民の方の意識が非常に高いっていうことは、他から視察に来られて来た方から言われているという。自分たちで何とかしていこうと、何かをやっていこうという意識があるのかなという風には思っています。

(二瓶副委員長)

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

(委員)

10ページのところで小規模多機能型居宅介護が定員が25名程度となってるんですが、今定員がどのくらいなのかなというところ。

あと今年度で、1事業公募中ということで、これが2事業となった時の定員とかご利用者の方の、見通しとか、そういったところをどのように想定されてるのかなというところを教えていただければと思いました。

(事務局)

制度改正がございまして、現在1事業所が29名の定員になっております。で、利用定員、利用者数につきましては、すみません、今数字を持って来なかったんですが、大体15名から20名程度で推移しているという風に聞いております。

この小規模多機能自体は、なかなか進まないところもあります。いつでも通うことができ、泊まることもできて、訪問もしてくれるという、非常にいい施設なんですけども、そんなにうまい話があるのかというような形で、住民の皆様もなかなかこう二の足をふんでいるというところがあるのと、料金自体が一月定額制になっちゃってますので、利用数が少ない方については結構割高に感じるようなところもございます。

いずれにしても、この小規模多機能といった在宅介護の事業所をこれから我々は重視していかな

いと今後の高齢者を支えきれないという風に思っておりますので、今年、あの、この第6期の計画においては、もう1事業所増やすとともに、利用者数の増加に努めていきたいなと思っております。

(二瓶副委員長)

小規模多機能ってのはショートステイの代わりみたいな形になりうる場所ですか。

(事務局)

簡単に申しますと、今日例えば通うだけのつもりで行きました。ところが、私の家族が急に用事ができてしまったために、ご本人をそのまま預けてほしいという希望があった場合には、もうそのまま泊まることができます。ところがショートステイになりますと、通常2週間とか3週間ぐらい前には予約をしないといけない点が大きな違いです。

(二瓶副委員長)

それは施設以外の人に行けるんですか。

(事務局)

小規模多機能は、そこだけになりますので、さっき申し上げたように定額制になっております。例えば訪問介護を利用しながら、小規模多機能を利用するっていうことができません。ただあの、訪問看護とか、要するに医療系の訪問が必要になってくるというようなものは別に使うことができるんですけども、介護保険の訪問介護ですとか通所介護といったようなもののサービスは小規模多機能の中に入ってますから、そこに登録していただかないとできません。

(二瓶副委員長)

他にございませんでしょうか。

よろしいですか。よろしければ次にいきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

続いて第2、町内サービス事業所向けアンケートをお願いしたいと思います。

(事務局)

まず資料2をご覧くださいんですが、第7期の計画に向けまして、今年の6月に葉山町内全事業所に対してアンケート調査をさせていただきました。

資料2の1ページ目から15ページ目のところまでは、介護保険に関することがメインです。例えば、利用定員に対して利用者数は何人ですかとか、今後事業を拡大する予定がありますかとかいったようなものがメインとなっております。そして16ページ目以降につきましては、医療と介護の連携についてという部分について書かせていただいております。

ここですみません、6月24日までの締め切りでアンケートをさせていただいたんですけども、全事業所からそろったのが実は今週でございます。この資料を作るまでに到底ちょっと間に合わなかったところがございます。

そこで、資料3をご覧くださいんですが、抜粋版という形にさせていただいて、これもすべてではないんですけども、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、特別養護老人ホーム、この3サービスにつきまして、主だったものだけ、今日ご説明させていただきます。完全版につきましては、次回の委員会でご説明をしたいという風に思っております。

資料3の1ページ目をご覧ください。えー、6月1日時点での利用者数のことでございます。

1番2番のところは飛ばさせていただいて、(3)番のところの特別養護老人ホームのところなんです。昨年度から要介護3以上でないとは特別養護老人ホームに入所できないと、原則的にはそういう風になっておるところなんですけども、そうした中要介護度別の利用者数の内訳がこのようになっております。で、注目したいところは、町内の2事業所合計148名、6月1日時点で入所し

てらっしゃるんですけども、その内葉山町民が105名と70.9%となっております。

平成25年、3年前の同時期に調べた時には58.2%でした。それが26年の6月1日の時には63.5%となっていたものが、現在で70.9%と、かなり引き上がっております。

2ページ目をご覧ください。待機者数のことでございます。6月1日時点で、2事業所、横須賀市民とか、全部含めて287人待機者がいらっしゃいます。

その中で、実際葉山町民130人ということで、45.3%。先ほども申し上げたように、原則的には要介護3以上の方々が入所となっておりますので、そうすると全体で192名、葉山町民で85人という風になっております。この動向につきましても、2事業所とも減少傾向にあること。

現状につきましては、これあの前回の委員会でも同じような意見が出ておりましたけども、とりあえず申し込むという方がいるので、実態はもっと少ない、もう少し少ない、あるいは要介護状態から見て軽度の方がいるので、実態はもう少し少ないというようなご意見をいただいております。

それは3ページ目のところにも該当するところございまして、減少傾向の理由のところ、「2. 近隣市に特養ができたため」「3. 老健に入所しているため」というところが、丸がついております。

4番の、ご利用者が在宅希望が強く特養入所申し込み者が減っているという事業所はゼロでございましたので、やはり他の事業に流れてるのかなあというところが見えます。それと、その他のところで特に目立った意見が、有料老人ホームという意見が非常に多くなっています。えー、有料老人ホーム、昔よりかも料金を下げていたりとかします。だからその辺のところ、料金体系的に昔は有料は高くても入れなかったという方がいらっしゃるの流れてる可能性もあります。あるいは、葉山町民の所得の関係で、有料老人ホームの方希望する方もいらっしゃるのかもしれない。

4ページ目をご覧ください。先ほど申し上げた入所が原則3以上になったことの影響でございますけども、一部影響があったという意見もございまして、総じて見るとそれほど大きな混乱はないというようなところが目立つのかなあという風に思います。

そして、5ページ目をご覧ください。地域包括支援センターのところ、現在町内1箇所ございます。で、もう1箇所増やすかどうかというところを議論するというのを再三申し上げているところです。

まず、連携状況のところでございますけども、緊密に、密接に、あるいはまあという形でほぼほぼ連携が取れているという風に思っております。

連携上の課題というところにつきましては、土日、祝祭日包括支援センターがやっていないので、その分連携が取れないですとか、区分変更、つまり要支援の方々は地域包括支援センターがケアプランを作るんですけども、要介護1以上になった場合には、居宅介護支援事業所がケアプランを作るのですが、その要支援から要介護への引き継ぎの部分でもう少し連携を取った方がいいんじゃないかというようなご意見がございました。

なお、地域包括支援センターとの連携については、まあ連携が取れている、連携上の課題は特に感じていないというような意見がございました。

そして、6ページ目をご覧ください。えー、地域包括支援センターを増設する必要があるかどうかというところでございますけども、必要があると答えた事業所は1事業所だけです。他6事業所、これ居宅介護支援事業所の回答でございますけども、必要ないと回答しております。あると答えたところでは、1事業所では今後まかないきれないんじゃないかと、木古庭・上山地域で1個あった方がいいんじゃないかというご意見がありました。

必要ないというところにつきましては、例えば2番目の丸のところでございますけども、まあ特に場所が遠いとか近くあってほしいという話は聞いたことがないとか、3番目として、小さな町なのであまり分散しない方がいいというような意見。あるいは、一番下の丸のところ、現状で特に問題はなく、利用者によって担当包括が変わると連携が取りにくくなるというご意見もございました。

なお、地域包括支援センターの意見といたしましては、利用者の増加や地域包括支援センターの求められている機能が多岐に渡ることから、中学校区に1つある方が地域包括支援センターの役割が十分果たせるのではないかと考えるという、こういう回答で、設置場所は木古庭の方面ではなくて長柄の方面にあった方がいいのではないかなというふうなご意見でした。

なお、あの、これはあくまでも、今回のアンケートの、居宅介護支援事業所と地域包括支援センターからの、えーと、回答結果です。今後、町民へのアンケートを今年の終わりから来年の初め辺りにやる予定でございますけども、そこでもこのような意見聴取をする予定でございます。

その意見をもとにして、また葉山町としてどのように設置するのかわからないのか、設置する場合にはどこに置くのが等々につきましては、今後議論をして、皆様と一緒にお話をさせていただければなという風に思っております。

では、副委員長、一旦ここで議事をよろしくお願いいたします。

(二瓶副委員長)

分かりました。

えーっと、事業所向けのアンケートについてだったんですが、皆さんからの意見がありましたらお願いいたします。

(委員)

前半の方の特養の方の部分ですね、意見というか感想を述べさせていただきたいと思います。

まず、葉山町民の入所の方に関しましては、あの本当に、熱意を持って言っていることもございまして、うちの方もやはり地元が大切なところもあります。実際にその、待機者の方々の入所の順番をやる、行政の方々も入っていただいておりますけども、そういったところでやはり優先順位というのをおつけしてありますが、基準として、やはり町民の方の方が点数が高くなるような設定をしてあります。

例えば介護度で、同じような状況の方であっても、葉山町にお住まいの方ということで点数がそれなりに高くなるような設定もしてありますので、そういった意味でも町民の方の割合が、25年からずいぶん増えたと考えられます。

待機者数の方の減少に関しましては、アンケートで実際に書いてあるところの通りだとは思いません。

あえてお話をさせていただくと、逗子の方で新しい特養ができて以降、たまたまなのかどうか分からないんですけども、月々の例えば申し込み者数っていうのがちょっと減ってきてます。一概に申せませんが、それができる前は、10何件月当たりであった申し込みの方が、それ以降、月5件程度というような、担当の話が出てます。

単純に思い付くところは、特養の入所基準っていうのが3以上になったということですが、それ以下でもお申し込みは実際うちでもお受けはしてるんです。ところが3以上じゃないと入れないということで、お申し込み控えみたいなのがあるのではないかなということは、まあちょっと危惧も含めてね、まあちょっと思っているところです。

といいますのも、あの、以前はいざ必要になったらすぐ入れるように早めに申し込んでおこうと、介護度が軽い内に申し込んでおこうというような方が多かったと思うんで、そういった意味でも数が少し減ってるんじゃないかなということですよ。

ちなみに、それこそ葉山町、隣の市町との比率みたいなものは特に変更はないです。どこが増えてどこが減ってる、極端に減ってるのかっていうことはないようです。どこも万遍なく、申し込みが減ってるという感があります。

料金のところのこともこちらの方で先ほどお話がありましたけども、特養の費用が高くなってというのは多分、これユニットのことですよ。うちは従来型といって、特に料金は比較のお安くなっています。月々多くても10万円くらいだとか、まあ、利用料、先ほど言った2割の方はもう少

し増えて来ますけれども、えー、確かに有料とかに余裕がある方は、移動しているケースもあるんじゃないかなという風には思います。

あとは、3以上っていうことになったことに関してはまあ、先ほど本当お話しした通りなんですけれども、一旦、特養がまだ入れないからといって、軽度の内に、例えば有料なり他の施設なりに入ったとして、いざじゃあ重くなったから特養に引っ越ししようっていうことは、そうはやっぱりないという話はあるんですね。以前は、これ実際、その、担当がご家族やなんかに聞いた話だそうなんですけれども、とりあえず申し込むけど、空きが出たらすぐ教えてくださいという話があったとしても、いざ、あの、順番ですよというお話をしたところによると、今やっぱり慣れたから、そちらの方が居心地がいいからそのままいるんだというようなお話も多く、そういった話があるそうです。ま、ご参考までにとおもいます。以上です。

(委員)

はい。よろしいですか。居宅の事業所も併設で持ってるんで、ケアマネからちょっとよく話を聞くことが多いんですけど、施設に入る、それか居宅で生活をしていくという時に、ケアマネの立場でとって、やはり利用者本位ってというのが、どうしても一番の優先になるんですけど、ケアマネとして施設入所に切り替えていくかっていうことをどこで判断するか、何を基準にしていくのかというところで非常に大きく迷ってしまう。

で、もちろん、利用者本位、家族、家族のご意見も大切なんですけど、ケアマネとして何を基準に、どういうところで、在宅では限界だねっていうところを判断していくのかってというのが非常に決めていくのが難しいというような話はよく聞きます。

特に、独居で生活されている方ってというのは、やはりどうしても、何があってもケアマネさんのところにどうしても一番最初に連絡がくるということになりますので、いざという時にやはり判断を下すというのが、ケアマネ自身が、本人のお話は色々聞くんですけど、どうしてもやっぱりケアマネさんとして判断をしていくところってというのが、非常に迷ってしまうというところが大きいところですよ。

(二瓶副委員長)

その話は意外ですね。大体介護のそういうケアマネは基準というか、お互いの連絡でできあがっているのかなとは思っています。

(委員)

ま、判断を求められた時にケアマネさんがその判断基準というのがやっぱり、色々行政とかいろんな方にご相談はするんですけど相談をされた時にあなたはそろそろ限界ですねとも言えないですし、その辺の判断というのは非常に難しいと思います

(二瓶副委員長)

何か、意見はございますか。

(委員)

要介護3以上の待機町民の方が85名いらっしゃるんですけども、これは認知症の基準っていうか、もちろん空きがないと入れない訳ですけども、介護度の重い方が優先なんです。それとも、その辺はまあ、あの、事業所によって違うと思うんですけども。

それから、このアンケートの結果を見るまでは、有料老人ホームの方が、金額的には高いっていう風な認識があったんですけども、このアンケートの結果を見ますと、ああ、違うんだなっていうことを感じました。それで、特養入居される方ってというのは、ケアマネさんと相互の話し合いで、いろんな意味で資金の蓄えがないとなかなか踏み切れないところもあるので、その、資産運用のこ

ともケアマネさんもある程度把握されて、それで、介護度3ということはかなり介護度は重くて、現場にいらっしゃる方、しんどいんだろうなーっていう思いもあるんですけども、やはり、働いている方のケアも考えながら、やっぱり運営していかないとやっていけないんじゃないかなっていう風に思うんですけどもその辺はいかがでしょうか。

(二瓶副委員長)

特別養護施設の入所に関する、なんかそういう、基準みたいなのはありますか。

(事務局)

原則要介護3以上なんですけれども、特別な理由がある場合は、例えば、独居で認知症がひどいとか、あるいは負担があるとかいう場合には、市町村が認めれば介護1で入れるということになっています。

それとケアマネの判断というところで、判断はケアマネ個々でしてるし、チームでこの方については、ケアマネが1人で老人ホームに入った方がいいとか悪いとかって判断をする訳でもないんで、必ずまあ多職種の間でお話し合いをしてやっていくんですが、社協のケアマネとかが仰っているのは、生活背景が人によって違うので、同じような判断基準でいくんだけど、その、まあ、外堀と言うか、環境と近隣の状況、助けの具合とかですね、親族の関わり方の具合によって、非常にケースバイケースのところがあるというところで、最後までケアマネは入れていい悪いっていう判断というか、ある程度こう、ケアマネとしてはこうですっていうのを伝えなきゃいけないという部分では非常に悩ましいというお話だと思いますね。

あと、非常に葉山らしいって言えばある意味葉山らしいんですけども、アンケートとか、ちょっと昨今の様子から、2割負担の方が出たので、特に、ユニット、個室の特養の方はむしろその個室特養で2割を払うよりも、有料の方がある意味見晴らしも良く、スタッフの対応もそれなりの方がいらっしゃるので、非常に満足度が高いから、多少お金を払ってでも有料へ行くっていう声が聞こえます。

(二瓶副委員長)

でも、そういう流れは自然じゃないですかね。有料に行ける人は有料に行くっていう流れは、あの、希望通りに有料に行くっていうのは自然の流れで、特別養護施設の、特別な人たちが入る訳じゃないんだろうけど、もうちょっと利用しやすい形が特別養護施設と考えるとすれば、そちらの利用をする人たちっていうので、入りやすい条件になっていくんじゃないかなと思うんですけどね。

(委員)

従来の1割負担という人で考えた場合なんですけども、大体、多く払う方で月10万円くらいで、少ない方だとその半分くらいで済みます。ですから仰っていたように、特養の意味合いというのは、そういうところの方も入っていただけるということだとは思いますが。

(委員)

この会議にずっと出させていただいて、すごく嬉しい数字っていうのがやっぱり待機者が減っているということと、あと葉山町の方たちの入所が増えているっていうことはこれすごく嬉しい数字だなと思ってます。

ただあの、統計の取り方のこの難しさっていうのを今聞いてて思ったんですけど、要するに申込者が複数申し込んでるっていうのは、これはもう、統計取るにあたってはとっても難しいことなんだなっていう風に思いました。

それとあと、ちょっとびっくりしたのは、色々料金が上がっている中で、有料老人ホームの料金が下がっているっていうのが、それは競争からなんだろうかな。それとも何か補助が出てるとかそういったことでしょうか。

(事務局)

ほぼ、競争とっていただいていると思います。高齢者数は首都圏では伸びているんですけども、地方圏ではもう減っている所もございます。やはり、限りがございますので、その中で有料老人ホームはかなり数を増やして今まで来たので、その辺のところで大分、競争があります。

(委員)

要するに葉山町内の有料老人ホームの料金が下がっているという理解ですか。

(事務局)

葉山町内でもですね、1事業所増設させていただいたのですが、そこはかなり料金を下げているという風に聞いております。

(二瓶副委員長)

はい。他にご質問はありませんか。

(委員)

包括に関する町内の事業所さんからのアンケートということなんで、事業所がどう考えてるかっということと、やはり住民の方がどういう風に考えてるかっ、やっぱり違うと思うんですね。

住民の方にしてみれば、相談する所が包括では1カ所ではなくて2カ所、3カ所あった方が、よろしいかと思えますし、事業所からすれば1つの所で色々事務的な処理も済みますし、まあ、研修会も、葉山町内の1カ所で、包括が主催すれば、包括が研修会、連絡会、1カ所で済むと思うんですけど、やっぱりその、それぞれ事業所から見た部分と住民から見た部分っていうことで、やっぱり違いがあるのかなっていう風に思います。

来年度以降、平成29年4月、新総合事業に移行していった時に地域包括センターの役割っていうのが非常に大きくなっていくという中では、やはり1カ所より、中学校区に1カ所あった方が、より住民の方に対するサービスっていうのは良くなっていくのかなっていう風には思います。

もちろん、お金がかかっていくことですので、一概にまあ、2カ所にしろ、3カ所にしろとは言えませんけれど、やはりその辺は住民の方の目線で考えていった方がいいのかなという風には思います。

(二瓶副委員長)

ありがとうございました。はい、どうぞ。

(委員)

アンケートの結果なんですけれども、土日祭日の連絡が事業所の方が取れないっていうところなんですけれども、あの、本来包括支援センターというのは、住民のための施設かなって、私はそう理解をしているんですけれども、土日祭日連絡が取れないっていうことは、どういうことなんだろうと思いました。

前回、いただいた資料の中で、包括支援センターの勤務形態を見ましたら、月曜日から金曜日で、9時から17時15分という勤務体系になっているので、その辺はどうなんだろうっていう風に感じました。

困難事例なんか持ってるケアマネさんは、包括と連絡したいことがあっても連絡が取れないから、

自分の事業所の方と、まあ、相談されるかもしれないんですけども、その辺の判断っていうのは、荷が重いかっていう感じがしました。

本来だったら、住民のための支援センターなので、規約かなんかの見直しが必要ではないかと思えます。

色々な困難事例は、待たなしのことがいっぱいあるかなっていう風を感じましたので、この辺のところ、改善できればいいかなっていう風に思いました。

区変のことも書いてありましたけれども、区変も、なんかやっぱり取りにくいのかなっていう風を感じたんですけども、審査会が終わった時点で、区変の方についてはその辺すぐ配慮してあげたら、悩むことはないんじゃないかなという風を感じました。

もう一つですね、あの、9ページのところに、病院や病状によって、連携具合の差が出るっていう風に回答されていますけれども、改善策はどのようにするのかなっていう風を感じました。

以上です。

(事務局)

包括への、その、土日の部分ですとか、色々、今までも課題はあって、ただ現状でいくと町の職員が、土日なんかでも、連絡が来れば実際動いています。包括は町の事業の委託というところもありますので、町の職員がさせていただいてるっていうのが実情です。

仰るように、包括1つ増やすのかとか、土日の部分の開設ですとか、人件費を増やして委託をするのか等については、今後議論して、あのまた、委員会でご提案させていただきます。

(二瓶副委員長)

その他ございませんか。

(事務局)

また、区分変更申請については、極力早めの対応をさせていただいております。

認定調査をすると、ある程度の介護度の予測がつかますので、区変があがって来たらなるべく速やかにという対応がさせていただいているところなんです。

ただ意見書というものがございまして、医療機関によって意見書の提出があるまでの時間に違いがあるのが課題です。

(医師)

区変を申し込む場合は、お医者さんと相談して区変を申請しますよね？

(二瓶副委員長)

区変の人は、大体ケアマネジャーと相談して、区変になる前からその対応をして、それに値するサービスを始めているのが多いです。

(事務局)

あと入院、急に入院されちゃった場合、ちょっと遅くなることはあります。

(二瓶副委員長)

ま、色々な分析が出て来まして、これから生かされるといいと思います。

。

(二瓶副委員長)

その他ございませんでしょうか。
なければ、後半部分について説明願います。

(事務局)

医療介護の部分です。資料の7ページ目の所をご覧ください。

医療介護連携ということで、退院前のカンファレンスに対しては、ケアマネさんがほぼ、あるいは必ず参加しています。退院時の病院から利用者家族への病状の説明という部分でも、ケアマネから見てほぼ理解できている、まあ理解できているということで、おおむねうまくできているという風に見えます。

8ページ目の所をご覧頂いて、利用者家族の理解促進のために工夫していることということで、例えば1番目のところで医師・看護師の説明を繰り返し説明して確認をしているですとか、2番目、在宅復帰した時に具体的にシュミレーションできるよう助言をしている等々、かなり町内のケアマネジャーが苦勞しているという所が見て取れます。

下から3番目の所でございますけども、ご本人の状態がまだ退院には早過ぎるのではないかと、あるいは救急搬送されて入院させてもらえずに帰れるケースと、病院側の事情で家族が不安を感じていることが増えていますという形になっていて、ここで申し上げたいのは、医療介護連携という部分でいきますと、介護側、ケアマネジャーから見るとかなり頑張っているらっしゃると、かなり進んでいるというのが見て取れるんですけども、こういった病診連携、あるいは病院の受け入れ状況とかがという部分が多少問題が出てるのが分かります。

4番、退院時の主治医または連携担当者との連携状況は、ほぼ連携できています。

9ページ目をご覧頂いても、入院した時に退院時に説明してほしいと看護師に頼み、名刺を渡して日程を決めてもらい、病院に行きますとか、病院から依頼があったケースはすべて行くとか等々、かなり頑張っているらっしゃるといのが分かります。

上から4番目、医師との話は約束の時間が確実にないため、前後の仕事が入れられない等々の、医師にどういう風に接触したらいいのか、どの時間に接触したらいいのかという悩みはあるというのが見て取れます。

10ページ目をご覧ください。入院時、逆に入院時の方につきましても、ほぼ連携できている、まあ連携できているということで、ほぼ連携はできています。

7番のところをご覧頂いても、入院したらすぐに面会に行くとか、上から4つ目です、入院時は病院の看護師の方が話が通りやすい。ケースによってはMSW、連携室も関わってもらえない、看護師に伝えておくなど退院調整がスムーズにいくよう前もって動いておくなど、活動しているらっしゃいます。

上から2番目のところにあるように、主治医がきちんと入院先を紹介してくれないケースがあるという形で、医療介護連携というよりは病診連携の所で多少課題があるのかという風にケアマネは見ているという風に思われます。

11ページ目をご覧ください。医療職との連携の工夫についても、こちらから担当看護師に会わせてもらいますとか、上から4つ目、訪問看護師は基本的に日中ステーションにいないので、文書・質問をFAXしておき、後で回答してもらうようにしている、緊急時はチーム全体が判断して動くため、連携が取れないということはないという形で、かなり、進んでいます。

ただ上から2番目、3番目のところで、先ほども申し上げたように、どのタイミングで医師と連絡したらいいのか分からないですとか、先生によって電話がいいのかFAXがいいのか、こういった時間がいいのかという所が、苦勞している所です。

12ページ目をご覧ください。日中の急変した場合の所でございますけども、4番の救急車の対応が多いというのはあらかじめ想定していた所なんですけども、2番目のかかりつけの医師、診療所の先生にそういった場合には連絡するというのが、複数回答ではありますけれど6事業所ありま

す。全体で8事業所でございますので、診療所にもちゃんと連絡をしているといったところで、やはり医療と介護の連携という部分は葉山町においてはまあできているのかなあという風に思われます。

夜間・休日においても、診療所の先生に対して連絡をするという所が8事業所中5事業所ございますので、かなり進んでいます。ただ、救急車の対応という所につきまして、本当にそれが救急対応が必要なのか、そうではなくて一律にやっているのかどうかという所については、このアンケートではそこまで深く追っていませんので、また2回目・3回目のアンケートでこの辺をまた追えたらと考えています。

13ページ目の所をご覧ください。今回の結果で良く分かった所が、13番・14番の所なんです。歯周病等の問題があると言っている所が7事業所あるんですけども、そのまま放置しているという所が6事業所、感じているという所がありますので、やはりその、高齢者の歯という部分が、医療介護というどうしてもこう内科的部分とか認知症の部分ばかりがクローズアップされてしまうんですけども、歯の部分について、少し置き去りにになっているというか、薄いのかというのがここで見れる所でございます。

14ページ目の所をご覧ください。2番目の所です。

最近訪問歯科医院が多すぎて質の問題があるとか、あるいは、下から2番目の所で、歯科通院されている方の場合には、同行して行くことはできない。口腔ケアの必要性は理解しているが、電話でやり取りすることが難しい。そして一番下の所です、そうは言いながらも、歯科受診せずに放置されていた経緯等のケース状況を事前に提供するようにしているという形もございますので、医療介護という連携でいきますと、葉山町民、町内においてケアマネ側から見れば、まあ医療介護はできている。ただ病診連携、あるいは病院の入院患者の受け入れ状況に多少問題がある。

そしてやはり歯の部分といったような所が、どうも高齢者はそのまま置き去りにしてしまっている部分が多いのではないかと見て取れます。

以上でご説明終わらせて頂きます。

(二瓶副委員長)

事務局の方から、説明がありました。何かございますでしょうか。

(委員)

まず、このアンケートの中にこういった歯科のことに對して入れて頂いたことがとっても嬉しいことです。色んな意見はあるでしょうけども、まだまだ歯科の方でそういったことに對するものが少し遅れているのかなあという気持ちはありますが、逗葉歯科医師会では病診連携室を設けまして、訪問治療を今、現在行っています。基準としてはですね、歯科医師会の方に連絡をして頂ければ、そこから今事務員を常時配置してますので、担当の理事の方が、どの先生に行って頂いたらいいかっていう振り分けをしている状況です。基準としましては、一番は、患者さんの希望があるんであれば、それを一番の優先。それと、もう一つはですね、過去に治療していた先生、これやっぱり一番分かりやすいので、色んな資料ありますので、記録・カルテ・レントゲン等がありますので、やっぱりスムーズにいくんではないのかっていうことで、そういった基準で、皆さんにも振り分けている段階なんです。ただ残念ながらまだまだちょっと数が少ない、だけど実績はだんだん今上がって来ています。

15番なんかでは、事業所と歯科医師は結構連携取れているっていう受け答えもあるみたいですし、あとですね、確かに訪問歯科医院が多すぎて質の問題がある。これは僕らとっても今危惧してるところでもあるんですけども、私個人の意見としては、自分が訪問する時の基準というのは、高齢になって足腰が弱くなって2階まで上がって来れない、何とか見てもらえないかって連絡を直接頂くと、自分の所の患者さんはもう必ず行くようにしてます。基本的な僕の考えとしては、自分の患者さんが動けなくなったらそこに訪問に行くっていうのが僕はいいいんじゃないかなって思っていま

すが、残念なことに、訪問を生業として、専門にやっている業者がたくさんあるので、その中にはやはり問題のある業者も、これは歯科だけに限ったことではないと思うんですが、確かに色々な業者がいますので、ちょっとその辺は、どうやって判断したらいいかっていうのは難しいんですが、口コミだと思います。評判を良く聞いて行って選択して頂くのが一番いいんじゃないかなって感じがします。

それとあと、口腔ケアのことに關しては、やはり最近すごくその重要性っていうのが注目されますので、やはりあの寝たきりになって口の中が汚れているとですね、最終的には誤嚥性肺炎を起こして亡くなっていくケースとか病気が酷くなるケースが多いです。ですから口腔ケアは、やっぱり専門家の指示を仰ぐなり、スタッフを教育するなりして、良くしていった方がいいのではないかなあと思います。

それと、今ここで一番訴えておかなければいけないのは、歯科医師会でそういった訪問を今やってるんですよっていうことをもうちょっと周知していかなくちゃいけない。もう先行で専門業者たちが入って来てますので、そっちの方がやっぱり商売でやってますので、全然うまいですよ。だからまあなるべく、町の方とも相談してその業者さんとケアマネが繋がっちゃってるケースもあるみたいなので、なかなかちょっと僕らも言いづらいところがあるんですが、ちらの方に連絡して頂くのが一番いいかなあとは思っています。

(二瓶副委員長)

非常にいい説明です。逗葉地区の歯科の先生方は頑張っていらっしゃるんだろうと思います。医療の方は、大きく2つ、入院していた人が退院した後の介護と医療の問題っていうのがあるかなというのと、介護者の緊急事態が起こった時の医療との連携のしかたの問題、この2つがあるかなと思うんですけども、後者については、緊急な時には在宅医療をやってる患者さんであれば、24時間体制を取っている医療機関はそれなりに、国からの報酬も違ったものを頂いてますので対応する義務があります。

だからそういう形で対応してて、多分どんな対応でもその先生方によって形が違うと思うんですけど、夜中の例えばね、2時くらいに行ってみて、行くまでの時間よりは、電話で容態を聞いてすぐその場で救急、これちょっと、その方がいいよ、そっとして救急車をお願いしなさいっていう一言、その、患者の家族さんと会話してそれをやった方がいいかなと。大体そうしてるんじゃないかなと思うんですけども、その辺の実態は把握してません。大体24時間、オンコールっていうか、携帯でやってる先生方が多いように聞いています。

それで、退院してからは、退院した後で訪問しているのであれば、サービスを、ケアマネジャーの人と話し合っていくっていうか、連絡して、じゃあ何曜日に行ってみますのでっていうような対応の仕方は普通やってると思います。ただ、その間でやっぱり、やり方でトラブルがあるのかなと思いますけど。外来している時にケアマネジャーから電話がかかって来ても、きちっと対応できないと思います。検査中だったり、患者さんと話してるそこら辺の、待ってる患者さん、また後で頼むよみたいなことをぼんと言っちゃったりすることは多々あると思うんですけど、そういうことの問題が大きく、多分ケアマネさんの心の中に残ってるんじゃないかなと思います。

患者さんとお医者さんの関係が悪い、そんなに悪いって言う人は多分いないと思うんですよ。その中に入る人たちが非常にこうちぐはぐになることがあると思います。まあそんなことしか言えないんで申し訳ないんですけど。

(委員)

12ページの所で11番の所、夜間休日の利用者急変した先っていう中の4番目に逗葉地域医療センターってのがあって、逗葉歯科医師会で逗葉地域医療センターで障害者歯科もやってあります。水曜日・木曜日、午後の13時から17時までです。そこは、センターに行ったことある人、地下室まで行ったことある人は少ないのかもしれませんが、エレベーターもかなり大きなのが

ありまして、車椅子のまま上がれますし、車椅子専用の治療台もあります。

ですから、個人病院で難しくなった場合、こういった事業所でもし、これ歯周病の問題がありますので、定期的にそういった方たちをその障害者歯科の方に運んで頂いて、専門のスタッフ、あと歯科医師いますので、そこだったらかなり、例えば、予約でやってますけども、事業所で例えば2人とか一緒に来て頂いて、口腔ケアして頂くとかってことも可能なかなあとは思いますが。

ここに理事の方もいらっしゃいますので、こういった逗葉地域医療センターの利用者としては、葉山かなり数が少ないんです。8割くらいが逗子じゃないかなと思います。1割～2割くらいが葉山なんですよ。

アクセスの問題もありますけども、そういった所もありますし、そこで手に負えない場合、ちょっと重症な方とかってというのはそこから神奈川歯科大学とか、例えば口腔外科のある入院施設のある所に紹介するとかっていうシステムも病診連携取ってますので、是非あの、この委員の方たちにはそういったものがあるんだよってことをちょっと覚えておいて頂いて、事業所の方たちもちょっと利用して頂けたらなと思います。

(二瓶副委員長)

ありがとうございました。

(事務局)

今回事業所アンケートをさせて頂いた結果、ケアマネが大変頑張っているというところで、この先が医療との結び付きのところでは少し問題が出ていますけれども、ご承知の方もいらっしゃるんですけども、逗子・葉山で行政が主体となりまして保健医療福祉の研究会というのをやっております、その中の小委員会でも25年から在宅医療、今のケアマネのお話の中で少し上手くいかなかった所とかそういう所をフォローしたりするような、在宅の拠点を今作ろうという話になっております。

他の地域、もちろん逗子・葉山でも逗葉地域の医療、医師会の先生方のお力も、お借りしてもちろんでできることなんですけども、逗子・葉山の特征として、逗葉地域医療センターというのがありまして、そこには医師会・歯科医師会・薬剤師会・行政、社協とかも入って頂いたような、みんなの連携する力でできてる、その地域医療センターであろうって話になってますので、29、30年度からの地域包括ケアシステムを作らなきゃいけないということもありますし、横のつながりを結んでいく何か、この支援していく所をこう今築いていこうとやっている所ですので、本当医者や歯科医者ととか、その辺のつながり方も、他の地域よりも、本来動き始めればすぐ動くもんだと思ってるんですが、動くのにちょっと時間がかかっているような状況で、客観的に見た数字とか、状況が分かって来れば、より進めやすいのかなって今回このアンケートをさせて頂いて思いました。

先ほどあの、包括支援センターのことについて、住民の意見がっていうようなお話も頂いたんですが、7期を作っていく中でまた住民の方にもアンケートを出していく予定を取りますので、それを聞いてですね、センターをもう1つ増やす増やさないはまた皆さんからご意見を頂きたいと思っております。

(委員)

すいません、1つだけ。

今回葉山のこれを見せて頂いて、本当にすごいなと思ったのが、他の地域ですと、ケアマネが入院されたことの情報が入らないっていうことで、それが、その方が使っているデイサービスとかから、連絡をもらって初めてケアマネが入院をしたことをご存知になったとか、下手をすると、時期を過ぎると退院された後に知ったとかいった所があったりするので、そういった所でもやっぱりケアマネがすべてを把握できる体制ができているなっていう所がこのアンケートとかからは分かったので、今お話頂いている体制もあるけれども、本当にそういった意味では、あの、担当者の方で

すとかっていう所では、医療と介護の連携ってというのがちょっとできているって結果なのかなあっていう所では、感じる所でありました。

(二瓶副委員長)

きっとケアマネジャーの力があるんだろうと思います。多分ね。
他にございませんでしょうか。
今後のスケジュールについて事務局より説明願います。

(事務局)

本日の議題はこれで終了なんですが、次回の委員会のところでございます。
来月末には国の主幹課長会議の内容につきまして、県の方から報告がございます。通常でいきますと、その回か、あるいは次の回辺りで、住民へのいわゆる日常生活圏域ニーズ調査という形の質問項目の雛形が上がって来るはずですよ。
例年わたくしどもの方と致しましては、その雛形を元にして葉山町ならではの質問事項を考えて、この委員会で図るというのが通例でございます。従いまして、年末か、年明けて初めくらいまで、国の方の出方も結構遅いのがございますので、かかってしまう可能性もございます。
次回委員会の日程がまだ確定できませんので、今回同様、委員長・副委員長とあらかじめご相談させて頂いた後に、皆様にまたご通知をしたいなあという風に思いますので宜しくお願いを致します。
以上になります。

(事務局)

それでは介護保険運営委員会につきましてはこちらで終了とさせていただきます。

第 7 期介護保険事業計画策定に向けての介護事業所アンケート結果

(平成 28 年 6 月実施)

平成 28 年 12 月

葉山町福祉課

1 利用者状況（平成28年6月1日時点）

（1）居宅介護支援事業所 7事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
27	27	180	103	80	52	30	499
5.4%	5.4%	36.1%	20.6%	16.0%	10.4%	6.0%	100.0%

（2）地域包括支援センター 1事業所

要支援1	要支援2	合計
149	133	282
52.8%	47.2%	100.0%

（3）短期入所生活介護 3事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	定員
0	1	5	5	8	6	3	28	44
0.0%	3.6%	17.9%	17.9%	28.6%	21.4%	10.7%	100.0%	63.6%

（4）訪問介護 3事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
24	19	29	14	12	11	6	115
20.9%	16.5%	25.2%	12.2%	10.4%	9.6%	5.2%	100.0%

（5）訪問看護 1事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	1	1	1	0	2	5
0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	100.0%

（6）定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	1	1	3	1	0	6
0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%

(7) 通所介護 6事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
80	82	143	101	62	30	17	515
15.5%	15.9%	27.8%	19.6%	12.0%	5.8%	3.3%	100.0%

(8) 地域密着型通所介護 3事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
8	15	25	15	17	6	3	89
9.0%	16.9%	28.1%	16.9%	19.1%	6.7%	3.4%	100.0%

(9) 認知症対応型通所介護 1事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	2	9	2	4	6	0	24
4.2%	8.3%	37.5%	8.3%	16.7%	25.0%	0.0%	100.0%

(10) 通所リハビリテーション 2事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
16	20	45	28	24	19	10	162
9.9%	12.3%	27.8%	17.3%	14.8%	11.7%	6.2%	100.0%

(11) 小規模多機能型居宅介護 1事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2	2	4	6	3	2	1	20
10.0%	10.0%	20.0%	30.0%	15.0%	10.0%	5.0%	100.0%

(12) 居宅療養管理指導 1事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	2	0	1	1	3	7
0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	100.0%

(13) 認知症対応型共同生活介護 2事業所

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	3	6	10	4	4	27
0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	37.0%	14.8%	14.8%	100.0%

(1 4) 介護付き有料老人ホーム 4事業所

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	定員
4	34	17	60	36	41	40	31	263	290
1.5%	12.9%	6.5%	22.8%	13.7%	15.6%	15.2%	11.8%	100.0%	90.7%



(うち葉山町被保険者：利用率 27.9%)

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
1	11	8	19	12	11	8	11	81
1.2%	13.6%	9.9%	23.5%	14.8%	13.6%	9.9%	13.6%	100.0%

(1 5) 介護老人保健施設 1事業所

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	定員
4	19	18	20	7	68	70
5.9%	27.9%	26.5%	29.4%	10.3%	100.0%	97.1%



(うち葉山町被保険者：利用率 61.8%)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
5	14	8	9	6	42
11.9%	33.3%	19.0%	21.4%	14.3%	100.0%

(1 6) 特別養護老人ホーム 2事業所

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	定員
1	4	30	62	51	148	160
0.7%	2.7%	20.3%	41.9%	34.5%	100.0%	92.5%



(うち葉山町被保険者：利用率 70.9%)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0	3	20	53	29	105
0.0%	2.9%	19.0%	50.5%	27.6%	100.0%

2 特別養護老人ホーム入所待機者（平成28年6月1日時点）

（1）特別養護老人ホーム入所待機者数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
33	62	83	65	44	287
11.5%	21.6%	28.9%	22.6%	15.3%	100.0%



（うち、葉山町被保険者：45.3%）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
15	30	40	29	16	130
11.5%	23.1%	30.8%	22.3%	12.3%	100.0%

（2）待機者の動向

2事業所とも「減少傾向にある。」と回答。

（3）待機者の現状（複数回答有）

- 1 とりあえず申し込むという方がいるので、実態（すぐに入所が必要な方）はもう少し少ない (回答数) 1 「実態は半数程度」と回答
- 2 要介護状態から見て軽度の方がいるので、実態（すぐに入所が必要な方）はもう少し少ない (回答数) 2

3 葉山町被保険者の特養待機者数が減少傾向（横ばい）な理由

（町内特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター回答）

（1）その理由

- 1 特養を退所される方が多く、入所がしやすくなっている。
- 2 近隣市（横須賀市等）に特養が新設（増床）された影響が大きいため。
- 3 老健施設に特養待機者が入所しているため。
- 4 ご利用者・ご家族は、施設より在宅希望が強く、特養入所申込者が減っている。
- 5 入所出来るのが原則要介護3以上となったため。
- 6 その他（

（回答）

1	0事業所
2	3事業所
3	2事業所
4	0事業所
5	1事業所
6	4事業所

（その他）

- ・ 2割負担利用者にとって料金が有料と変わらない金額。80代～90代の方の年金額は特養というより有料を希望すると思われる。
- ・ 値段が安く、医療サポートもある有料に入ってしまう。
- ・ 上記2, 3, 5に加え、有料ホームが増えたこと。
- ・ 特養の費用が高くなり、有料や老健に流れる人が増加している。

（参考）葉山町被保険者の特別養護老人ホーム入所待機者数の推移（各年度10月1日現在）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
待機者数	210人 町内179人 町外31人	162人 町内133人 町外29人	173人 町内150人 町外23人	136人 町内108人 町外28人

町内とは町内特養、町外とは町外特養を指します。

4 短期入所生活介護事業所の利用状況（短期入所生活介護事業所回答）

（1）短期入所生活介護事業所の利用状況

（設問）貴事業所の利用者状況について、いずれかに をしてください。

（ひとつだけに ）

- 1．利用者は増えている。
- 2．横ばいである。
- 3．利用者は減っている。

（回答）

1	0 事業所
2	0 事業所
3	3 事業所



（その理由）

- ・定期的に利用していた方が亡くなったり、老健等の施設に入所しショートステイ利用終了となるケースが増えた。新規利用の依頼はあるがなかなか定期的な利用に繋がらず結果的に利用者が減っている。
- ・競合他施設が増えて利用者が分散されていること、また高齢に伴うリピーターが施設入所や死亡などによりリピート利用がなくなってきたこと、また、比較的長めの（1週間ぐら）利用が少なくなってきたことによる。



【設問】また、貴事業所では、当日利用等、緊急利用は可能でしょうか。それともある程度前もっての予約が必要でしょうか。いずれかに をしてください。

（ひとつだけに ）

- 1．ベッドに空きがあれば、ご本人、ご家族の都合による緊急対応は可能であり、実際に当日利用を受け入れている。
- 2．ベッドに空きがあれば、ご本人、ご家族の都合による緊急対応は可能であるが、実際には空きがあまりないため（予約で一杯等）、緊急利用はできていない。
- 3．当日利用は受け付けていない。
- 4．その他（)

（回答）

1	2 事業所
2	1 事業所
3	0 事業所
4	0 事業所

5 近年の利用者数はどのような状況ですか。(全事業所回答)

要支援利用者(ひとつだけに)

- 1 利用者数は増加傾向にある。
- 2 利用者数は減少傾向にある。
- 3 その他()

(回答)

1	7事業所
2	10事業所
3	10事業所

3 その他

- ・横ばい
- ・以前とあまり変わらず
- ・要介護利用者が要支援の認定になる方が増加

要介護利用者(ひとつだけに)

- 1 利用者数は増加傾向にある。
- 2 利用者数は減少傾向にある。
- 3 その他()

(回答)

1	4事業所
2	14事業所
3	10事業所

3 その他

- ・殆ど変わらず減ったり増えたり1~2名程度。
- ・変化なし。
- ・入所定員に対する利用者数はほぼ満床。ただし入所待機者の減少が見られるため今後は減少傾向と思われる。
- ・ほぼ一定数、変動なし。
- ・横ばい。
- ・ほとんど変わらない。要支援者だと在宅での生活がまだ続けていけるから。

- ・若干減っています。要支援の方の依頼はよく頂きます。(他事業所が断っている?)
要介護の方についての依頼は減少傾向です。居宅介護支援事業を運営していませんので回ってこない?のかもしれませんが、競争が厳しくなっているのかと思います。
- ・変動はあるが人数はほぼ変わっていないと思います。
- ・横ばい。サ高住に住みながら小規模を利用する人が増えている。

6 平成28年6月時点での貴事務所(貴法人)の今後の葉山町内での事業方針について
いずれかに をし、その理由を含め記載してください。(全事業所対象)

今後の事業展開(下記1~4のどれかに をしてください。)(ひとつだけに)

1	拡大(新規事業所を開設する、増床する、従業者(ケアマネ等)を増やし受入れ可能人数を増やす、町内で移転し定員数を増やす 等)
2	縮小(従業者(ケアマネ等)を減らし受入れ可能人数を減らす、町外に事業所を移転する等)
3	現行どおり
4	未定

その理由及び増床数等具体的内容

(回答)

1	6事業所
2	0事業所
3	19事業所
4	3事業所



・(生活リハビリクラブ葉山)

建物の老朽化と制度改定が重なり移転と共に新規事業を開設の予定

地域密着型通所介護事業所 通常規模通所介護事業所

小規模多機能型居宅介護

- ・(葉山町社協)
居宅介護支援は現状のサービス量を維持したいと考えているが、訪問介護においては今後の介護保険制度の動向を踏まえ、撤退若しくは縮小を視野に入れている。
- ・(葉山清寿苑)
現行の施設運営となる。
- ・(葉山銀の杜)
・新規物件、職員確保、経済状況を鑑みた結果、利用者への適当なサービス提供が困難と思われる。
- ・(葉山フットパワー)
拡大、新規事業所開設も考えているが、人材不足や今後の介護保険制度の動向を考えると現状は難しいと思います。地域の方、包括のケアマネさんの機能訓練型短時間デイの要望は強い。町が市と連携して介護予防の取組みを協力して行えないかと思っています。
- ・(葉山清寿苑デイサービスセンター)
稼働率などビジネスで考えると現行が望ましいと思われるため。
- ・(葉山の丘)
増床したばかりである事、リハビリ特化型デイサービスを新規開設したこと、居宅のケアマネジャーを増員した事が重なっているため。
- ・(葉山オハナデイサービスセンター)
新規事業所を開設予定。
- ・(葉山清寿苑短期入所サービスセンター)
現行の施設運営になる。
- ・(葉山グリーンヒルケアセンター)
依頼件数にもよりますが、現行どおり事業を運営していくかと思えます。
- ・(アロハオハナデイサービスセンター)
若年性認知症の利用者様の居場所等考えていきたい。
- ・(葉山オハナ在宅サポート)
ご利用者様受け入れの幅を増やすために痰吸引研修の受講、また訪問看護ステーションとの連携を行っていきたい。また他市の同事業所と連携し、多様なニーズにこたえていきたい。
- ・(デイサービスARK葉山の森)
開設後より定員の増進・営業曜日の拡大したため、今後として現行どおりとなります。
- ・(葉山町デイサービス)
葉山町内での居支事業所。
- ・(アンコール葉山小規模多機能型介護事業所)
定員数が25から29になったことで利用者増を目指す。ケアマネの資格を持った者も従業者として採用し、事業所内の充実と飛躍を目指す。

7 地域包括支援センターについて（全事業所対象）

（1）普段から地域包括支援センターとの連携は取れていますか。いずれかに をしてください。（ひとつだけに ）

1	密接に連携が取れている
2	まあ連携が取れている
3	あまり連携がとれていない
4	その他（ ）

（回答）

1	5 事業所
2	16 事業所
3	5 事業所
4	2 事業所

居宅介護 1、通所介護 1、GH 1、有料 2
特養 1、有料 1

4 特養との直接的な関連性はない

（2）地域包括支援センターと連絡をとる際、あるいは地域包括支援センターからの依頼があった際の課題はありますか。

1	ある
2	ない

→ （2-1）課題がある場合、どのような課題ですか。記載してください。（自由記入）

--

（回答）

1	5 事業所
2	23 事業所



- ・土・日祭日の連絡が取れない。
- ・区変をかけて要介護の認定が出てから依頼があるが、結果が出る前に依頼して欲しい。状態悪化で区変をかけているのだから区変をかけた時点で早急に居宅に声をかけて引き

継ぎ、担当者会議をして欲しい。結果として支援のままでも受けていくことは出来る。
区変をかけた時点でアセスメント実施、予測力を持って居宅ケアマネも動いているはず。
認定が出るまで待つというのはケアマネジメント技術としては成立しないと考える。

- ・要支援が要介護になるか判定町の方への対応はより連携を密にしておく必要がある。
- ・入所申込の件で依頼がある。
- ・ご挨拶では伺っている。
- ・上山口、木古庭に住んでいる方、山の上等生活が難しい場所への支援や対応。

(3) 地域包括支援センターは、現在葉山町内に 1 箇所ですが、増設の必要はあると考え
ますか。いずれかに をしてください。(ひとつだけに)

- 1 ある
- 2 ない

(3 - 1) 増設の必要がある場合、ない場合、それぞれの理由を記載してください。

(3 - 2) 地域包括支援センター増設の必要がある場合、どの地域に設置したらいいと考
えますか。いずれかに をしてください。(ひとつだけに)

- 1 木古庭・上山口地域
- 2 下山口・一色地域
- 3 堀内地域
- 4 長柄地域
- 5 その他()

(回答)

1	2 事業所
2	2 5 事業所
不明	1 事業所



- ・特に包括支援センターの場所が遠い、近くにあって欲しいという話は聞いた事ありません。
- ・総人数を知らない
- ・1箇所だけでは今後益々賄いきれないのでは。
- ・小さな町なのであまり分散しない方がよいと思うが、支援・軽度者が増えていく可能性が高く、包括の業務量としての適正を考える事も必要になってくると思う。
- ・包括さんの内情は分かりませんが、必要ない(足りている)ように思えます。
- ・現状で特に問題もなく、利用者によって担当包括が変わると連携が取りにくくなる。
- ・現在の体制で良いと思われる。
- ・葉山町は小さい町で人口も少ないため、今のままで十分だと思います。
- ・増設に伴いメリットでもあるのかと思われますが、それ程広くない葉山で余分に分割、増設することで相互連携や実際に利用される方に混乱や不備が出てくる恐れがあると考えられる。
- ・今後要支援者の増加が見込まれるのであれば増設の必要もあるのでは・・・と思うが、現状ではわからない。
- ・現状で問題を感じていないため
- ・増設の必要はないと思いますが、職員の増員、体制強化は今後に向けて必要ではないかと思えます。
- ・十分と考えられる。
- ・増設するなら費用を抑えるためにケアマネジャーを増やして対応する方がよいのではないかと思います。
- ・より密接に連携がとれる。(びやくしんの苑)
- ・現状特に問題がないため。
- ・現在町の中心地に位置しており、アクセスのしやすさ等ちょうど良いと思われる。
- ・通所介護事業として不自由に感じる現状はありません。
- ・現在も密に連携が取れ、高齢者への支援が出来ている。

(2) 退院時の病院 (主治医・看護師等) から利用者・家族への病状説明の状況

- | | |
|---|--------------|
| 1 | ほぼ理解できている |
| 2 | まあ理解できている |
| 3 | あまり理解できていない |
| 4 | ほとんど理解できていない |
| 5 | その他 () |

(回答)

1	1 事業所
2	6 事業所
3	0 事業所
4	0 事業所
5	1 事業所

(主治医や看護師によって差が大きいです。)

(3) 退院時における利用者・家族の理解促進のために工夫していること

- ・ 医師、看護師の説明を繰り返し説明して確認している。
- ・ 説明をきちんと受けていないケース(ターミナルのケース等)があった場合、医師への受診を勧める。
- ・ 在宅復帰した時に具体的にシュミレーション出来る様助言する。
- ・ 病院からの説明は十分に行われていると思われるが、なかなか理解・納得までには時間が必要。MSWから申し送りを受けた内容を繰り返し、今時点の状態確認を本人・家族と行う時間を作っている。ただ退院後の生活が早期に落ち着くかどうかはCMの力によるところもある。
- ・ 在宅で出来る事、出来ない事など理解しておいてもらうよう説明している。
- ・ ご本人の状態がまだ退院には早すぎるのでは?あるいは救急搬送されて入院させてもらえずに帰されるケース等、病院側の事情(在院日数削減等)で家族が不安を感じている事が増えています。
- ・ 出来る限り退院前に病院へ出向き、カンファレンスに参加し、安心して退院日を迎えられるようにしている。
- ・ 介護保険ガイドブックやはやま福祉便利帳等を活用しての説明やMSWや病棟NSからの情報も得て、各ケースの状態や状況に合わせて対応している。

(4) 退院時の主治医又は連携担当者との連携状況

1	ほぼ連携できている
2	まあ連携できている
3	あまり連携はできていない
4	全く連携できていない
5	その他 ()

(回答)

1	1 事業所
2	4 事業所
3	0 事業所
4	0 事業所
5	3 事業所

(その他)

- ・主治医や担当 CW によります。
- ・病院や病状によって連携度合いに差が出る。
- ・HP によって連携状況は違う。

(5) 退院時の主治医又は連携担当者との連携における工夫

- ・入院した時に退院時に説明して欲しいと看護師に頼み名刺を渡し、日程を決めてもらい病院に行きます。(家族と) 今後のサービス見直しが必要か、注意すべき事等の確認をし、各事業所に連絡するようにしている。
- ・病院からの依頼があったケースは全て行きますし、状態に変化があった場合は、退院前カンファレンスを依頼するようにしています。
- ・必ず連携室・相談室 (ない場合は窓口) を通して連絡を取る。
- ・Dr . との話は約束の時間が確実にないため前後の仕事は入れられない。
- ・以前より病院側からの連絡要請があるようになり助かっている。
- ・家族 (本人) が主治医 (又は看護師) に不信感を持っている場合はとても苦労します。
- ・病院の事は看護師・医師にサマリーをもらい確認し、在宅生活の事は連携担当者と確認するようにしている。
- ・退院サマリー等の書類や主治医・MSW 等からの直接の説明を聞き、HP 側の見解を確認し福祉側の考えを話して情報共有している。

(6) 入院時の連携状況

1	ほぼ連携できている
2	まあ連携できている
3	あまり連携はできていない
4	全く連携できていない
5	その他 ()

(回答)

1	3 事業所
2	3 事業所
3	0 事業所
4	0 事業所
5	2 事業所

(その他)

- ・ 状況を知っているのは家族で十分と考えている。認知症や家族が病気だった場合は直接説明と情報提供する。通院時も付き添って行きます。
- ・ 各ケースによって情報提供し、HPからの問合せがあった場合も提供している。

(7) 入院時の主治医又は連携担当者との連携における工夫

- ・ 入院したらすぐ面会に行きます。担当看護師には状況説明をしますが、連携担当者には会えませんよ。
- ・ 主治医がきちんと入院先を紹介してくれないケースがある。
- ・ 情報提供書はなるべく持参し、直接話を聞くようにしている。
- ・ 入院時は病院NSの方が話が通りやすい。ケースによってはMSWも関わってもらいたいとNSに伝えておくなど退院調整がスムーズにいくよう前もって動いておく。状態についてのASはNSやPT、OTから直接取った方が目標が設定しやすいので、NS、PTの時間に合わせて訪問している。
- ・ 必要に際して病院へ出向いている。
- ・ MSWとの連絡についてはあまり苦労はありません。
- ・ 情報提供書を渡すようにして在宅生活のイメージをもってもらおう。
- ・ 早めに日程調整をしたり、カンファ前にケース情報提供と収集を行なう等の工夫をしている。

(8) 日常の療養支援において連携を強化したい関係者 (複数回答有)

- | | |
|---|----------------|
| 1 | かかりつけ医 (病院) |
| 2 | かかりつけ医 (診療所) |
| 3 | 薬局 |
| 4 | 訪問看護ステーション |
| 5 | その他 () |

(回答)

1	5 事業所
2	6 事業所
3	3 事業所
4	6 事業所
5	2 事業所

(その他)

- ・ サービス事業所
- ・ M S W ・ 退院支援室等の N S

(9) 医療職との連携上の工夫

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ こちらから担当看護師に会わせてもらいます。今後の治療等、家族と一緒に話を聞きます。家族が説明を受けるときに同席させてもらいます。・ どのタイミングで医師と連絡していいか悩むことがある。・ 先生よって電話が良いのか F A X がよいのか、どの時間帯がよいのか地域の D R . の情報を把握して対応している。・ 訪問看護師は基本的に日中ステーションにいないので、文書・質問を F A X しておき、後で回答をもらうようにしている。・ 緊急時はチーム全体 (関係者) が判断して動くため、連携がとれないことはない。・ 主治医への連携は訪問看護よりしていただいたりと工夫している。かかりつけ医 (往診医) があまり熱心でない場合は、家族の不信感が大きく苦労します。・ 先生によって、いつ連絡していいのかわかりにくい。(特に大きな病院。町医者とは連絡が取りやすくなった。)・ 簡潔明瞭にケースの現況と今後の見通し等の必要な情報提供と収集を行うようにしている。 |
|---|

(1 0) 日中、利用者の容態が急変した際の受診先 (複数回答有)

- 1 かかりつけ医 (病院)
- 2 かかりつけ医 (診療所)
- 3 かかりつけ医以外の医療機関
- 4 救急車対応
- 5 その他 ()

(回答)

1	6 事業所
2	6 事業所
3	0 事業所
4	7 事業所
5	0 事業所

(1 1) 夜間・休日に利用者の容態が急変した際の受診先 (複数回答有)

全てに をしてください。

- 1 かかりつけ医 (病院)
- 2 かかりつけ医 (診療所)
- 3 かかりつけ医以外の医療機関
- 4 逗葉地域医療センター
- 5 救急車対応
- 6 その他 ()

(回答)

1	4 事業所
2	5 事業所
3	0 事業所
4	4 事業所
5	8 事業所
6	2 事業所

(その他)

- ・営業していない。生命にかかわる急変は救急へ連絡するよう話をしている。

(12) 利用者の容態急変時にどこに受診したらいいか苦慮したことの有無

ある	1事業所
ない	7事業所

- ・独居の場合は自宅へ伺い訪問しますが、訪問看護師が入っている場合は違います。家族で対応の場合、急変しているのに救急車以外にないでしょう。
- ・急変時の対応についてマニュアル化しているが、家族のいない人などどこまで支援をすべきか悩む事がある。

(13) 利用者の歯について、歯周病等の問題があるかどうか

ある	7事業所
ない	1事業所

(14) 利用者の歯について、問題があるのに歯科医に受診せず放置されているケース

ある	6事業所
ない	2事業所

(15) 普段の業務で歯科医師との連携状況

ある	8事業所
ない	0事業所

(1 6) 歯科医師との連携で工夫している点

- ・通院している方の歯科医師等への連携はありません。訪問歯科の医師とは連絡を取りますし、報告もしてもらえます。
- ・通院が出来る状態の方にまで「訪問歯科が出来ます」と患者にすすめてしまう。最近、訪問歯科医院が多すぎて質の問題がある。
- ・訪問歯科診療を家族が希望した場合調整しているが、主治医の歯科医師がケアマネが勧めたと誤解を招かないよう留意している。
- ・訪問歯科診療を受けている人は訪問日に合わせて訪問しているが、歯科通院されている方の場合、同行して行かない。口腔ケアの必要性は理解しているが、電話ではやり取りをすることが難しい。
- ・歯科受診せずに放置されていた経緯等のケース情報を事前に提供するようにしている。

葉山町高齢者福祉に関するアンケート調査 ～アンケート調査へのご協力をお願い～

日頃より、本町の高齢者福祉事業に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、現在、葉山町では、平成27年3月に策定した「第6期 葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の改定を予定しており、これに先立ち、町民のみなさまのご意見をいただくアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、本年1月1日時点で要介護・要支援認定を受けている65歳以上の皆様を対象としています。

このアンケート調査の結果は、町民のご意見として「第7期 葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定する際の重要な基礎資料とさせていただきます。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成29年1月
葉山町福祉部福祉課

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 . 封筒のあて名の方がアンケートの対象となっています。
- 2 . できるだけ、アンケート対象(あて名の方)ご本人がお答えください。ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方等がご本人の意思を反映してお答えください。
- 3 . 同封の返信用封筒（切手不要）にご記入いただいた本調査票を入れて、平成29年2月28日（火）までにご返送ください
- 4 . 回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。また、調査結果につきましては、統計的な処理を行うとともに、個々の調査票を外部に出すことはしないため、ご回答いただいた方に、ご迷惑をおかけすることはございません。

ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

葉山町福祉部福祉課介護高齢係

電話046-876-1111 内線234

【記入者について】

問1 このアンケートは、どなたが記入されていますか。(1つだけに)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 ご本人 | 2 配偶者(夫・妻) | 3 息子・娘 |
| 4 息子が娘の夫・妻 | 5 兄弟・姉妹 | 6 その他の親族 |
| 7 民生委員 | 8 ホームヘルパー | 9 ケアマネジャー |
| 10 施設の職員 | 11 その他() | |

11 その他に をした場合は、()に具体名を記載してください。

以下の質問は、ご本人(あて名の方)についておたずねします。

問2 性別はどちらですか。(1つだけに)

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問3 平成29年1月1日現在の年齢は、おいくつですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 65歳~69歳 | 2 70歳~74歳 | 3 75歳~79歳 |
| 4 80歳~84歳 | 5 85歳~89歳 | 6 90歳~94歳 |
| 7 95歳以上 | | |

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(1つだけに)

- | | | |
|-----------------------------|--------------------|-------|
| 1 木古庭 | 2 上山口 | 3 下山口 |
| 4 一色(一色台、パークド四季葉山、つつじが丘 以外) | | |
| 5 一色(一色台) | 6 一色(パークド四季葉山) | |
| 7 一色(つつじが丘) | | |
| 8 堀内(東伏見台、つつじが丘 以外) | 9 堀内(東伏見台) | |
| 10 堀内(つつじが丘) | 11 長柄(イトーピア、葉桜 以外) | |
| 12 長柄(イトーピア) | 13 長柄(葉桜) | |

【あなたのご家族や生活状況について】

問5 家族構成を教えてください。(1つだけに)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 1人暮らし | 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | |
| 4 息子・娘との2世帯 | 5 その他() |

「5 その他」にした場合は、()に具体的内容を記載してください。

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。
(1つだけに)

- | |
|--|
| 1 介護・介助は必要ない |
| 2 何らかの介護・介助は必要だが現在は受けていない |
| 3 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

問7 問6において、「1 介護・介助は必要ない」以外の方のみお答えください。
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|----------------|-------------|
| 1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2 心臓病 | 3 がん(悪性新生物) |
| 4 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) | 5 関節の病気(リウマチ等) | |
| 6 認知症(アルツハイマー病等) | 7 パーキンソン病 | |
| 8 糖尿病 | 9 腎疾患(透析) | |
| 10 視覚・聴覚障害 | 11 骨折・転倒 | |
| 12 脊椎損傷 | 13 高齢による衰弱 | |
| 14 その他() | 15 不明 | |

「14 その他」にした場合は、()に具体的内容を記載してください。

「15 不明」にした場合は、1～14まではをしないでください。

問 8 問 6 において、「 1 介護・介助は必要ない」以外の方のみお答えください。
主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

- | | | |
|---------------|----------|---------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 息子 | 3 娘 |
| 4 子の配偶者 | 5 孫 | 6 兄弟・姉妹 |
| 7 介護サービスのヘルパー | 8 その他() | |

「 8 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1 つだけに)

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい | 3 ふつう |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある | |

問 10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1 つだけに)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 持家(一戸建て) | 2 持家(集合住宅) |
| 3 公営賃貸住宅 | 4 民間賃貸住宅(一戸建て) |
| 5 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6 借家 |
| 7 その他() | |

「 7 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

【からだを動かすことについて】

問 11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1 つだけに)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問 12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1 つだけに)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問 13 15分位続けて歩いていますか。(1つだけに)

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけに)

- 1 何度もある 2 1度ある 3 ない

問 15 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけに)

- 1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない
4 不安でない

問 16 週に1回以上は外出していますか。(1つだけに)

- 1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上

問 17 1週間の外出回数は何回ですか。(それぞれの()に回数を記載してください。)

- 1 買い物(町内) 週()回
2 買い物(町外) 週()回
3 病院・診療所(町内) 週()回
4 病院・診療所(町外) 週()回
5 通勤 週()回
6 その他 週()回

問 18 運転免許証を所持していますか。(1つだけに)

- 1 所持している 2 所持していない

問 19 問 18 において「1 所持している」方のみお答えください。
何歳まで運転できると考えていますか。(1つだけに)

- 1 75歳まで 2 80歳まで 3 90歳まで 4 分からない

問 20 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけに)

- 1 とても減っている 2 減っている
3 あまり減っていない 4 減っていない

問 21 外出を控えていますか。(1つだけに)

- 1 はい 2 いいえ

問 22 問 20 で「1 はい」(外出を控えている)の方のみ
外出を控えている理由は次のどれですか。(いくつでも)

- 1 病気 2 障害(脳卒中の後遺症など) 3 足腰などの痛み
4 トイレの心配(失禁など) 5 耳の障害(聞こえの問題など)
6 目の障害 7 外での楽しみがない 8 経済的に出られない
9 交通手段がない 10 その他()

「10 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 23 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

- 1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 自動車(自分で運転)
5 自動車(人に乗せてもらう) 6 電車 7 路線バス
8 病院や施設のバス 9 車いす 10 電動車いす(カート)
11 歩行器・シルバーカー 12 タクシー
13 その他()

「13 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

【食べることについて】

問 24 身長・体重

身長_____ c m 、体重_____ k g

問 25 半年前に比べて堅いものが食べにくくなりましたか。(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 26 お茶や汁物等でむせることはありますか。(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 27 口の湯きが気になりますか。(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 28 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。
(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 29 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親
知らずを含めて 32 本です。)(1 つだけに)

- 1 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用
- 2 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
- 3 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用
- 4 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

問 30 噛みあわせは良いですか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 31 問 29 で「 1 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「 3 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみお答えください。
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 32 6 か月間で 2 ~ 3 k g 以上の体重減少がありましたか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 33 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つだけに)

1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある
4 年に何度かある 5 ほとんどない

【毎日の生活について】

問 34 物忘れが多いと感じますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 35 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。
(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 36 今日が何月何日か分からない時がありますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 37 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)
(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 38 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 39 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 40 自分で請求書の支払をしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 41 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 42 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。
(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 43 新聞を読んでいますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 44 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 45 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 46 友人の家を訪ねていますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 47 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 48 病人を見舞うことができますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 49 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 50 趣味はありますか。(1つだけに)

- | |
|-----------------|
| 1 趣味あり 具体的内容() |
| 2 思いつかない |

「1 趣味あり」に をした場合には、具体的な内容を()に記載してください。

問 51 生きがいがありますか。(1つだけに)

- | |
|-------------------|
| 1 生きがいあり 具体的内容() |
| 2 思いつかない |

「1 生きがいあり」に をした場合には、具体的な内容を()に記載してください。

【地域での活動について】

問 52 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ~ それぞれの項目に回答してください。

	週 4 回 以上	週 2 ~ 3 回	週 1 回	月 1 ~ 3 回	年に数回	参加して いない
ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
老人クラブ	1	2	3	4	5	6
町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 53 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけに)

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない

問 54 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

(1つだけに)

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない

【たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。）】

問 55 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください。

問 56 反対にあなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください

問 57 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください

問 58 反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください

問 59 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

- | | | |
|-----------------|----------------|--|
| 1 自治会・町内会・老人クラブ | 2 社会福祉協議会・民生委員 | |
| 3 ケアマネジャー | 4 医師・歯科医師・看護師 | |
| 5 地域包括支援センター・役場 | 6 その他（ | |
| 7 そのような人はいない | ） | |

「6 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「7 そのような人はいない」に をした場合は、1～6までは をしないでください。

問 60 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（ひとつだけに ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 毎日ある | 2 週に何度かある | 3 月に何度かある |
| 4 年に何度かある | 5 ほとんどない | |

問 61 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（ひとつだけに ）

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1 0人（いない） | 2 1～2人 | 3 3～5人 |
| 4 6～9人 | 5 10人以上 | |

問 62 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | | |
|------------------|--------------|-----------|
| 1 近所・同じ地域の人 | 2 幼なじみ | 3 学生時代の友人 |
| 4 仕事での同僚・元同僚 | 5 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6 ボランティア等の活動での友人 | | |
| 7 その他() | | |
| 8 いない | | |

「7 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

「8 いない」に をした場合は、1～6までは をしないでください。

【健康について】

問 63 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(ひとつだけに)

- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1 とてもよい | 2 まあよい | 3 あまりよくない | 4 よくない |
|---------|--------|-----------|--------|

問 64 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、記入してください。)

(ひとつだけに)

とても 不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても 幸せ
-----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----------

問 65 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(ひとつだけに)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

【医療について】

問 70 普段からかかりつけの医療機関はありますか。(ひとつだけに)

- 1 はい 2 いいえ

問 71 問 70 で 1 はい に をした方のみお答えください。
かかりつけ医は診療所ですか、病院ですか。(ひとつだけに)

- 1 診療所(町内) 2 診療所(町外)
3 病院

問 72 この1年間で救急車を要請したことがありますか。
(ひとつだけに)

- 1 はい 2 いいえ

問 73 問 72 で 1 はい に をした方のみ。
直近で救急車を要請した時間帯はいつですか。(ひとつだけに)

- 1 日中(7時から18時まで)
2 夜間(18時から4時まで)
3 早朝(4時から7時まで)

問 74 問 72 で 1 はい に をした方のみ。
直近で救急車を要請した理由はなんですか。(ひとつだけに)

- 1 緊急性を要し、一刻も早く病院に急行する必要があったため
2 かかりつけ医と相談し救急車を要請した
3 誰にも相談する人がいなく不安になり要請した
4 病院に行く手段(自家用車、バス等)がないので救急要請した
5 その他()

「5 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 75 日頃から医師以外で医療面について相談できる人はいますか。
(ひとつだけに)

- 1 家族
- 2 近所の人
- 3 ケアマネジャー等介護サービス事業者
- 4 行政・地域包括支援センター
- 5 その他()

「4 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 76 かかりつけ歯科医はいますか。(ひとつだけに)

- 1 はい(町内)
- 2 はい(町外)
- 3 いいえ

問 77 日頃からの歯科医への受診状況について教えてください。
(ひとつだけに)

- 1 歯周病等があり歯科医に受診している。
- 2 歯周病等はないものの、歯垢除去などのため、定期的に受診している。
- 3 歯に問題があるものの、歯科医に受診はしていない
- 4 歯に問題がないので、歯科医に受診はしていない

【人生の最期に対する考え】

問 78 あなたが病気などで回復の見込みがなく、人生の最期を迎えるときが来た場合、最期はどこで過ごしたいですか。(ひとつだけに)

- 1 最期まで自宅で過ごしたい
- 2 自宅で療養し、必要になれば医療機関に入院したい
- 3 病院に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設に入所したい
- 5 わからない
- 6 その他()

「6 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 79 問 78 で「1 最期まで自宅で過ごしたい」「2 自宅で療養し、必要になれば医療機関に入院したい」の方のみお答えください。
それは実現できると思いますか。(ひとつだけに)

- 1 実現できると思う
- 2 実現は難しいと思う
- 3 分からない
- 4 その他()

4 その他の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 80 問 79 で「2 実現は難しいと思う」「3 分からない」の方のみ
その理由は何ですか。(3つまで)

- 1 家族に介護の負担や手間がかかるから
- 2 自宅で介護を受けられる居住空間が整っていないから
- 3 介護してくれる家族がないから
- 4 在宅介護サービスが不十分だから
- 5 入院した方がきちんと医療を受けられるから
- 6 急に具合が悪くなったとき不安だから
- 7 自宅で亡くなることに不安があるから
- 8 お金がかかるから
- 9 家族の理解が得られないから
- 10 その他()

「10 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

【介護度の変化について】

問 81 現在の要介護度を教えてください。(ひとつだけに)

- 1 要支援 1 2 要支援 2 3 要介護 1 4 要介護 2
- 5 要介護 3 6 要介護 4 7 要介護 5

問 82 要介護度は1年前と比べてどのように変化していますか。
(ひとつだけに)

- 1 要介護度が上がっている(悪くなっている)
- 2 同じ要介護度である
- 3 要介護度が下がっている(良くなっている)
- 4 1年前は認定を受けていない
- 5 分からない

問 83 問 82 で「1 要介護度が上がっている（悪くなっている）」方のみお答えください

その原因について思い当たることはありますか。

（あてはまる番号すべてに ）

- 1 大きな病気をした
- 2 病気が進行・再発した
- 3 ケガをしてしばらく動けなくなった
- 4 認知症が発症・進行した
- 5 介護保険サービスの利用が少なかった・利用しないことがあった
- 6 介護保険サービスの利用が多かった・頼りすぎた
- 7 動けなくなり、体力が落ちてしまった
- 8 特別なことはなかったが、年をとるにつれて身体が弱ってきた
- 9 その他（ ）
- 10 理由はよく分からない

9 その他の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

問 84 問 82 で「3 要介護度が下がっている（良くなっている）」方のみお答えください。

その原因について思い当たることはありますか。

（あてはまる番号すべてに ）

- 1 治療を受け、病気やケガが治った
- 2 介護保険サービス等を利用し、専門家の指導を受けてリハビリした
- 3 自分でできる限り動くようにした
- 4 その他（ ）
- 5 理由はよくわからない

4 その他の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

【地域包括支援センターについて】

問 85 高齢者の総合相談を行う葉山町地域包括支援センターについて知っていますか。(ひとつだけ)

- 1 地域包括支援センターは知っていて、相談したことがある
- 2 地域包括支援センターは知っているが、相談したことはない
- 3 相談したいことはあるが、地域包括支援センターについては知らない
- 4 特段相談することもないので、地域包括支援センターについて知らない

【ご意見・ご要望】

最後に、葉山町の高齢者福祉・介護保険行政へのご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。

ご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

葉山町高齢者福祉に関するアンケート調査 ～ アンケート調査へのご協力をお願い～

日頃より、本町の高齢者福祉事業に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、現在、葉山町では、平成27年3月に策定した「第6期 葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の改定を予定しており、これに先立ち、町民のみなさまのご意見をいただくアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、本年1月1日時点で要介護・要支援認定を受けている65歳以上の皆様を対象としています。

このアンケート調査の結果は、町民のご意見として「第7期 葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定する際の重要な基礎資料とさせていただきます。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成29年1月
葉山町福祉部福祉課

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 . 封筒のあて名の方がアンケートの対象となっています。
- 2 . できるだけ、アンケート対象(あて名の方)ご本人がお答えください。ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方等がご本人の意思を反映してお答えください。
- 3 . 同封の返信用封筒（切手不要）にご記入いただいた本調査票を入れて、平成29年2月28日（火）までにご返送ください
- 4 . 回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。また、調査結果につきましては、統計的な処理を行うとともに、個々の調査票を外部に出すことはしないため、ご回答いただいた方に、ご迷惑をおかけすることはございません。

ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

葉山町福祉部福祉課介護高齢係

電話046-876-1111 内線234

【記入者について】

問1 このアンケートは、どなたが記入されていますか。(1つだけに)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 ご本人 | 2 配偶者(夫・妻) | 3 息子・娘 |
| 4 息子か娘の夫・妻 | 5 兄弟・姉妹 | 6 その他の親族 |
| 7 民生委員 | 8 ホームヘルパー | 9 ケアマネジャー |
| 10 施設の職員 | 11 その他() | |

11 その他に をした場合は、()に具体名を記載してください。

以下の質問は、ご本人(あて名の方)についておたずねします。

問2 性別はどちらですか。(1つだけに)

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問3 平成29年1月1日現在の年齢は、おいくつですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 65歳~69歳 | 2 70歳~74歳 | 3 75歳~79歳 |
| 4 80歳~84歳 | 5 85歳~89歳 | 6 90歳~94歳 |
| 7 95歳以上 | | |

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(1つだけに)

- | | | |
|-----------------------------|--------------------|-------|
| 1 木古庭 | 2 上山口 | 3 下山口 |
| 4 一色(一色台、パークド四季葉山、つつじが丘 以外) | | |
| 5 一色(一色台) | 6 一色(パークド四季葉山) | |
| 7 一色(つつじが丘) | | |
| 8 堀内(東伏見台、つつじが丘 以外) | 9 堀内(東伏見台) | |
| 10 堀内(つつじが丘) | 11 長柄(イトーピア、葉桜 以外) | |
| 12 長柄(イトーピア) | 13 長柄(葉桜) | |

【あなたのご家族や生活状況について】

問5 家族構成を教えてください。(1つだけに)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 1人暮らし | 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | |
| 4 息子・娘との2世帯 | 5 その他() |

「5その他」にした場合は、()に具体的内容を記載してください。

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。
(1つだけに)

- | |
|--|
| 1 介護・介助は必要ない |
| 2 何らかの介護・介助は必要だが現在は受けていない |
| 3 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

問7 問6において、「1介護・介助は必要ない」以外の方のみお答えください。
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|----------------|-------------|
| 1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2 心臓病 | 3 がん(悪性新生物) |
| 4 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) | 5 関節の病気(リウマチ等) | |
| 6 認知症(アルツハイマー病等) | 7 パーキンソン病 | |
| 8 糖尿病 | 9 腎疾患(透析) | |
| 10 視覚・聴覚障害 | 11 骨折・転倒 | |
| 12 脊椎損傷 | 13 高齢による衰弱 | |
| 14 その他() | 15 不明 | |

「14 その他」にした場合は、()に具体的内容を記載してください。

「15 不明」にした場合は、1～14までは をしないでください。

問 8 問 6 において、「 1 介護・介助は必要ない」以外の方のみお答えください。
主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

- | | | |
|---------------|----------|---------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 息子 | 3 娘 |
| 4 子の配偶者 | 5 孫 | 6 兄弟・姉妹 |
| 7 介護サービスのヘルパー | 8 その他() | |

「 8 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1 つだけに)

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい | 3 ふつう |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある | |

問 10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1 つだけに)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 持家(一戸建て) | 2 持家(集合住宅) |
| 3 公営賃貸住宅 | 4 民間賃貸住宅(一戸建て) |
| 5 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6 借家 |
| 7 その他() | |

「 7 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

【からだを動かすことについて】

問 11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1 つだけに)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問 12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1 つだけに)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問 13 15分位続けて歩いていますか。(1つだけに)

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけに)

- 1 何度もある 2 1度ある 3 ない

問 15 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけに)

- 1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない
4 不安でない

問 16 週に1回以上は外出していますか。(1つだけに)

- 1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2~4回 4 週5回以上

問 17 1週間の外出回数は何回ですか。(それぞれの()に回数を記載してください。)

- 1 買い物(町内) 週()回
2 買い物(町外) 週()回
3 病院・診療所(町内) 週()回
4 病院・診療所(町外) 週()回
5 通勤 週()回
6 その他 週()回

問 18 運転免許証を所持していますか。(1つだけに)

- 1 所持している 2 所持していない

問 19 問 18 において「1 所持している」方のみお答えください。
何歳まで運転できると考えていますか。(1つだけに)

- 1 75歳まで 2 80歳まで 3 90歳まで 4 分からない

問 20 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけに)

- 1 とても減っている 2 減っている
3 あまり減っていない 4 減っていない

問 21 外出を控えていますか。(1つだけに)

- 1 はい 2 いいえ

問 22 問 20 で「1 はい」(外出を控えている)の方のみ
外出を控えている理由は次のどれですか。(いくつでも)

- 1 病気 2 障害(脳卒中の後遺症など) 3 足腰などの痛み
4 トイレの心配(失禁など) 5 耳の障害(聞こえの問題など)
6 目の障害 7 外での楽しみがない 8 経済的に出られない
9 交通手段がない 10 その他()

「10 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 23 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

- 1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 自動車(自分で運転)
5 自動車(人に乗せてもらう) 6 電車 7 路線バス
8 病院や施設のバス 9 車いす 10 電動車いす(カート)
11 歩行器・シルバーカー 12 タクシー
13 その他()

「13 その他」に をした場合は、()に具体的内容を記載してください。

【食べることについて】

問 24 身長・体重

身長_____ c m 、体重_____ k g

問 25 半年前に比べて堅いものが食べにくくなりましたか。(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 26 お茶や汁物等でむせることはありますか。(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 27 口の湯きが気になりますか。(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 28 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。
(1 つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 29 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親
知らずを含めて 32 本です。)(1 つだけに)

- 1 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用
- 2 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
- 3 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用
- 4 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

問 30 噛みあわせは良いですか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 31 問 29 で「 1 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「 3 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみお答えください。
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 32 6 か月間で 2 ~ 3 k g 以上の体重減少がありましたか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 33 どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つだけに)

1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある
4 年に何度かある 5 ほとんどない

【毎日の生活について】

問 34 物忘れが多いと感じますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 35 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。
(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 36 今日が何月何日か分からない時がありますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 37 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)
(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 38 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 39 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 40 自分で請求書の支払をしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 41 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけに)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 42 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。
(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 43 新聞を読んでいますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 44 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 45 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 46 友人の家を訪ねていますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 47 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 48 病人を見舞うことができますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 49 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけに)

1 はい 2 いいえ

問 50 趣味はありますか。(1つだけに)

- | |
|-----------------|
| 1 趣味あり 具体的内容() |
| 2 思いつかない |

「1 趣味あり」に をした場合には、具体的な内容を()に記載してください。

問 51 生きがいがありますか。(1つだけに)

- | |
|-------------------|
| 1 生きがいあり 具体的内容() |
| 2 思いつかない |

「1 生きがいあり」に をした場合には、具体的な内容を()に記載してください。

【地域での活動について】

問 52 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ~ それぞれの項目に回答してください。

	週 4 回 以上	週 2 ~ 3 回	週 1 回	月 1 ~ 3 回	年に数回	参加して いない
ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
老人クラブ	1	2	3	4	5	6
町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 53 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけに)

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない

問 54 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

(1つだけに)

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない

【たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。）】

問 55 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください。

問 56 反対にあなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください

問 57 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください

問 58 反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ | ） 8 そのような人はいない | |

「7 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「8 そのような人はいない」に をした場合は、1～7については をしないでください

問 59 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

- | | | |
|-----------------|----------------|--|
| 1 自治会・町内会・老人クラブ | 2 社会福祉協議会・民生委員 | |
| 3 ケアマネジャー | 4 医師・歯科医師・看護師 | |
| 5 地域包括支援センター・役場 | 6 その他（ | |
| 7 そのような人はいない | ） | |

「6 その他」の場合は、（ ）に具体的内容を記載してください。

「7 そのような人はいない」に をした場合は、1～6までは をしないでください。

問 60 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（ひとつだけに ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 毎日ある | 2 週に何度かある | 3 月に何度かある |
| 4 年に何度かある | 5 ほとんどない | |

問 61 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（ひとつだけに ）

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1 0人（いない） | 2 1～2人 | 3 3～5人 |
| 4 6～9人 | 5 10人以上 | |

問 62 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | | |
|------------------|--------------|-----------|
| 1 近所・同じ地域の人 | 2 幼なじみ | 3 学生時代の友人 |
| 4 仕事での同僚・元同僚 | 5 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6 ボランティア等の活動での友人 | | |
| 7 その他() | | |
| 8 いない | | |

「7 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

「8 いない」に をした場合は、1～6までは をしないでください。

【健康について】

問 63 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(ひとつだけに)

- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1 とてもよい | 2 まあよい | 3 あまりよくない | 4 よくない |
|---------|--------|-----------|--------|

問 64 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、記入してください。)

(ひとつだけに)

とても 不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても 幸せ
-----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----------

問 65 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(ひとつだけに)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

【医療について】

問 70 普段からかかりつけの医療機関はありますか。(ひとつだけに)

- 1 はい 2 いいえ

問 71 問 70 で 1 はい に をした方のみお答えください。
かかりつけ医は診療所ですか、病院ですか。(ひとつだけに)

- 1 診療所(町内) 2 診療所(町外)
3 病院

問 72 この1年間で救急車を要請したことがありますか。
(ひとつだけに)

- 1 はい 2 いいえ

問 73 問 72 で 1 はい に をした方のみ。
直近で救急車を要請した時間帯はいつですか。(ひとつだけに)

- 1 日中(7時から18時まで)
2 夜間(18時から4時まで)
3 早朝(4時から7時まで)

問 74 問 72 で 1 はい に をした方のみ。
直近で救急車を要請した理由はなんですか。(ひとつだけに)

- 1 緊急性を要し、一刻も早く病院に急行する必要があったため
2 かかりつけ医と相談し救急車を要請した
3 誰にも相談する人がいなく不安になり要請した
4 病院に行く手段(自家用車、バス等)がないので救急要請した
5 その他()

「5 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 75 日頃から医師以外で医療面について相談できる人はいますか。
(ひとつだけに)

- 1 家族
- 2 近所の人
- 3 ケアマネジャー等介護サービス事業者
- 4 行政・地域包括支援センター
- 5 その他()

「4 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 76 かかりつけ歯科医はいますか。(ひとつだけに)

- 1 はい(町内)
- 2 はい(町外)
- 3 いいえ

問 77 日頃からの歯科医への受診状況について教えてください。
(ひとつだけに)

- 1 歯周病等があり歯科医に受診している。
- 2 歯周病等はないものの、歯垢除去などのため、定期的に受診している。
- 3 歯に問題があるものの、歯科医に受診はしていない
- 4 歯に問題がないので、歯科医に受診はしていない

【人生の最期に対する考え】

問 78 あなたが病気などで回復の見込みがなく、人生の最期を迎えるときが来た場合、最期はどこで過ごしたいですか。(ひとつだけに)

- 1 最期まで自宅で過ごしたい
- 2 自宅で療養し、必要になれば医療機関に入院したい
- 3 病院に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設に入所したい
- 5 わからない
- 6 その他()

「6 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 79 問 78 で「1 最期まで自宅で過ごしたい」「2 自宅で療養し、必要になれば医療機関に入院したい」の方のみお答えください。
それは実現できると思いますか。(ひとつだけに)

- 1 実現できると思う
- 2 実現は難しいと思う
- 3 分からない
- 4 その他()

4 その他の場合は、()に具体的内容を記載してください。

問 80 問 79 で「2 実現は難しいと思う」「3 分からない」の方のみ
その理由は何ですか。(3つまで)

- 1 家族に介護の負担や手間がかかるから
- 2 自宅で介護を受けられる居住空間が整っていないから
- 3 介護してくれる家族がないから
- 4 在宅介護サービスが不十分だから
- 5 入院した方がきちんと医療を受けられるから
- 6 急に具合が悪くなったとき不安だから
- 7 自宅で亡くなることに不安があるから
- 8 お金がかかるから
- 9 家族の理解が得られないから
- 10 その他()

「10 その他」の場合は、()に具体的内容を記載してください。

【地域包括支援センターについて】

問 81 高齢者の総合相談を行う葉山町地域包括支援センターについて知っていますか。(ひとつだけ)

- 1 地域包括支援センターは知っていて、相談したことがある
- 2 地域包括支援センターは知っているが、相談したことはない
- 3 相談したいことはあるが、地域包括支援センターについては知らない
- 4 特段相談することもないので、地域包括支援センターについて知らない

【ご意見・ご要望】

最後に、葉山町の高齢者福祉・介護保険行政へのご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。



アンケートは以上で終了です。

ご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

葉山町地域包括支援センター

「介護に関すること」「日常生活に関すること」「どこに相談するかわからない」

といったお悩み、まずはお相談ください。問題に応じて適切なサービスや関係機関につなげます。相談に関する費用は無料です。

葉山町地域包括支援センターとは葉山町にお住まいの高齢者や家族に対して介護・福祉・医療の専門職が協同してさまざまな面から総合的に支え、問題の解決や介護予防に向けて取り組みを行なう機関です。

主な仕事の内容

総合相談・支援事業

介護保険に関する相談や生活に関する相談など

虐待防止・早期発見、権利擁護

高齢者（弱者）を守るため関係機関からの情報提供・本人家族からの相談

多面的（制度横断的）支援の展開

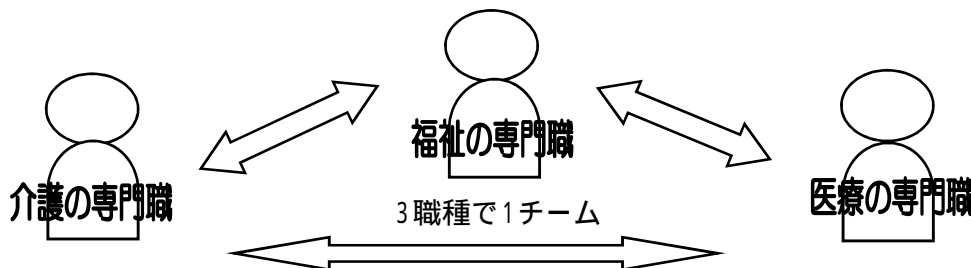
介護保険制度からボランティアなどを活用し、行政や関係機関との連携

包括的・継続的マネジメント事業

介護保険におけるケアマネージャーへの指導や助言

介護予防マネジメント事業

要支援1・要支援2に該当する方の予防給付のマネジメント
介護保険に該当しない方の地域支援事業のマネジメント



色々なサービスや社会資源を活用して介護予防と問題解決に取り組みます

介護保険制度を利用して支援

・介護保険に該当しないが支援が必要な方、要支援1・2の認定を受けた方の介護予防プラン作成

介護保険外のインフォーマルなサービスを活用して支援

・町の一般施策の活用
・ボランティアの活用
・民間のサービスを活用

関係機関や行政等に連絡して連携

・葉山町役場や葉山福祉事務所と連携
・医療機関や福祉施設等と連携

葉山町地域包括支援センター

〒240-0112 葉山町堀内2220番地 葉山町福祉文化会館内

電話 877-5324 FAX 876-1873

営業日：平日 8:30~17:00
